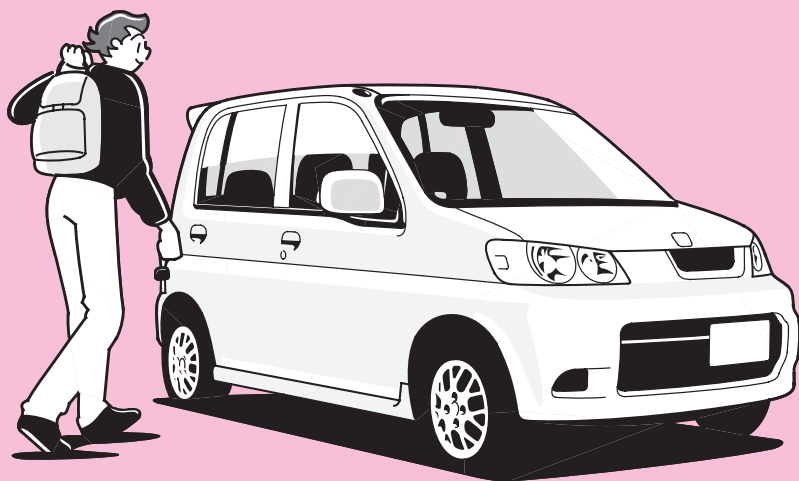


このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **LIFE Dunk** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



● 運転はルールを守り、マナーよく。 ・ シートベルトを着用しましょう。 ・ 法定速度を守りましょう。 ・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。 ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。 ・ 迷惑運転はやめましょう。 ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。 ● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えてあります

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



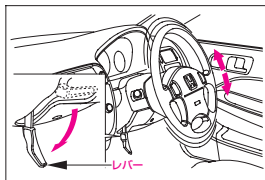
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知 識

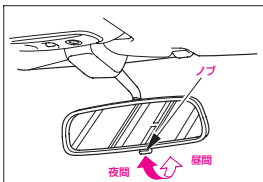
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6～9)



名称から探すとき



さくいん
(P.226～235)

目次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. お出かけまえに 12 | 2. お子さまに思いやりを 14 |
| 3. 正しい知識で最適運転 18 | 4. オートマチック車の注意ポイント 20 |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 24 | 6. こんなことにも注意をしよう 26 |

11

1. 車を運転する前に

- | | | |
|------------|------------------|---------------|
| ・各部の開閉 34 | ・シートの調節 46 | ・バックミラーの調節 56 |
| ・シートベルト 58 | ・チャイルドシート固定装置 66 | |

33



2. 車を運転するときに

- | | | |
|---------------|------------|---------|
| ・メーター 72 | ・表示灯 74 | ・警告灯 78 |
| ・スイッチの使いかた 84 | ・運転のしかた 92 | |

71



3. 安全装備

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ・SRSエアバッグシステム 108 | ・シートベルトプリテンショナー 116 |
| ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 118 | ・四輪駆動機構(4WD) 120 |
| ・その他の安全装備 121 | |

107



4. ドライブを快適にする装備

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・エアコン 124 | ・オーディオ 138 | ・室内装備品 154 |
|-----------|------------|------------|

123



5. 万一のとき

- | | | |
|--------------------|--------------|------------------|
| ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 160 | ・故障したとき 162 | ・事故が起きたとき 164 |
| ・けん引 166 | ・パンクしたとき 170 | ・オーバーヒートしたとき 180 |
| ・電気系統が異常のとき 182 | | |

159



6. 車の手入れ

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| ・点検・整備について 194 | ・日常の手入れ 196 | ・車にあった部品の使用 204 |
|----------------|-------------|-----------------|

193



7. 車との上手なつきあいかた

- | | |
|------------------|-------------|
| ・積雪・寒冷時の取り扱い 206 | ・こんなときは 216 |
|------------------|-------------|

205



・サービスデータ

220

・さくいん

226

・こんなことでお困りのとき

巻末

名称別ビジュアル目次

パワーウィンドースイッチ 44

ライト／方向指示器(ウィンカー)スイッチ 86、87

ドアミラー調節スイッチ 57

メーター 72

表示灯 74

警告灯 78

ワイパー／ウォッシャースイッチ 88

セレクトレバー 96

非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ 87

リヤデフロスター

スイッチ 90

エアコン 124

オーディオ 注文装備 138

シガレットライター 155

カップホルダー 158

灰皿 156

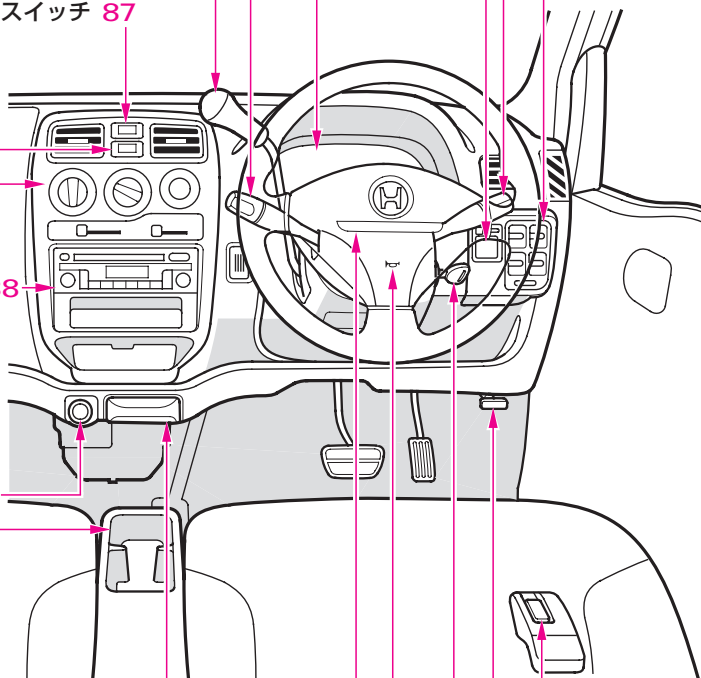
SRSエアバッグシステム(運転席用) 108

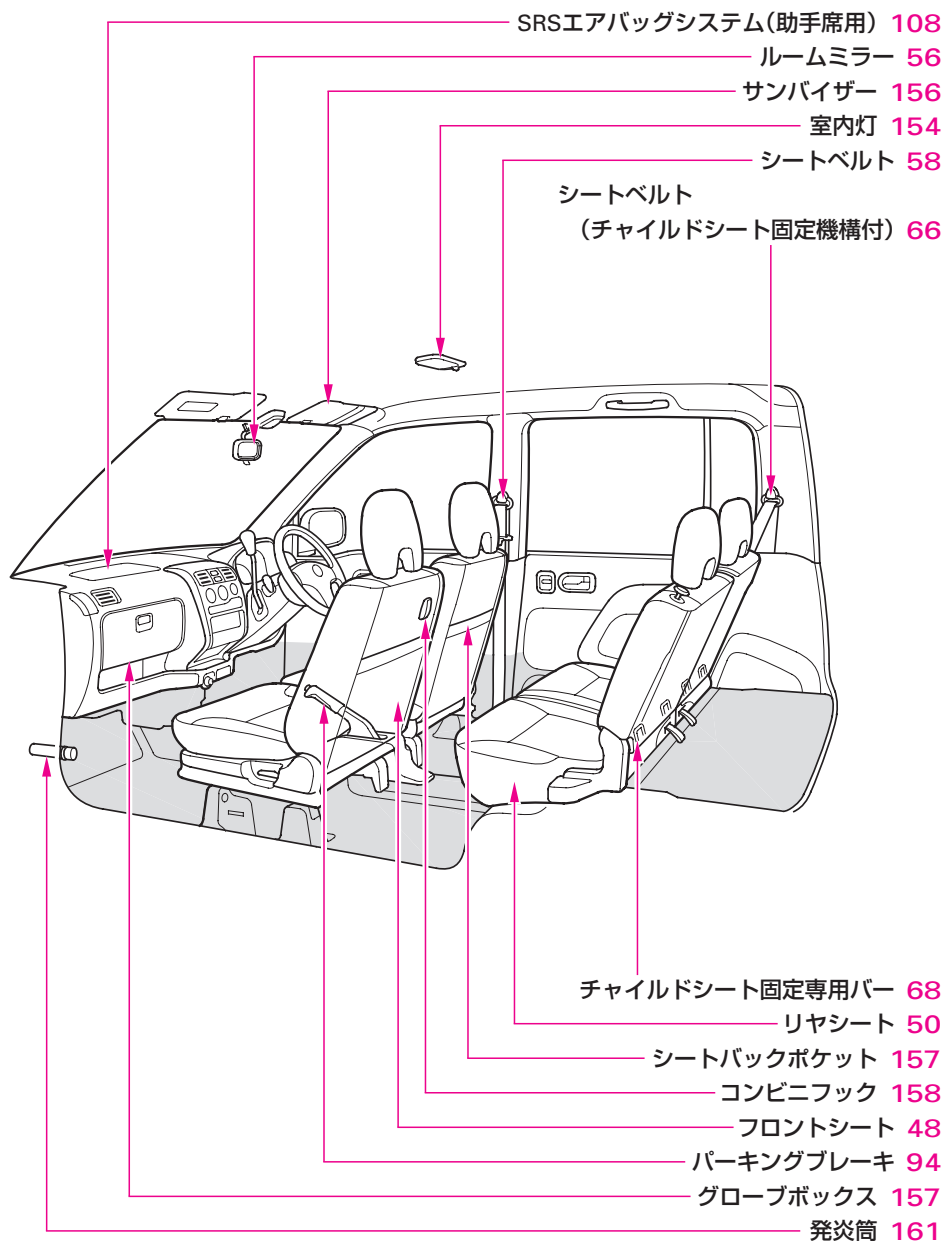
ホーンスイッチ 91

エンジンスイッチ 84

ボンネット解錠ノブ 38

フューエルリッドオープナー 43



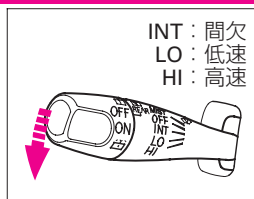


動作別ビジュアル目次

ワイパー

88ページ

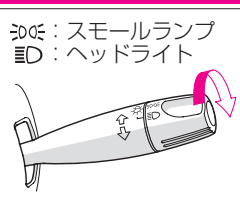
レバーを下げるとワイパーが作動します。



ライト

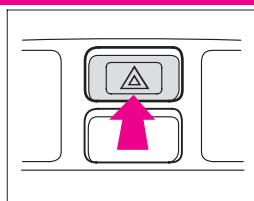
86ページ

ツマミをまわすとライトが点灯します。



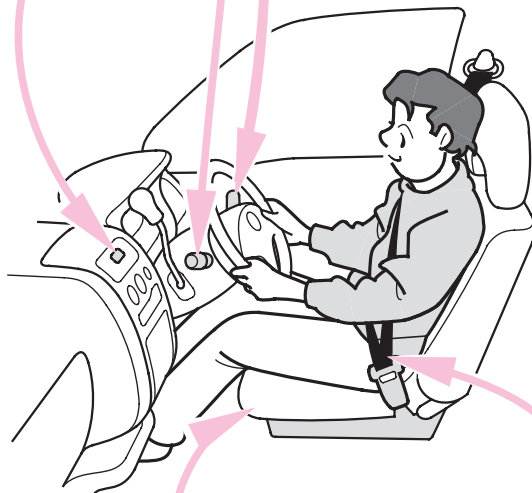
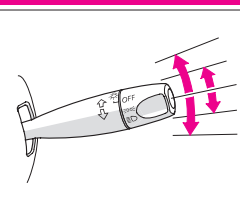
非常点滅表示灯(ハザード) 87ページ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。



方向指示器(ウィンカー) 87ページ

レバーを上または下へ操作すると方向指示器が点滅します。



シート

46ページ

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。



シートベルト

58ページ

正しい運転姿勢でシートベルトを着用します。

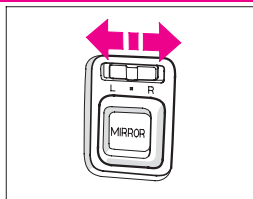


※基本的な操作のみを記載しています。ご使用前には、必ず本文をお読みください。

電動ドアミラー

57ページ

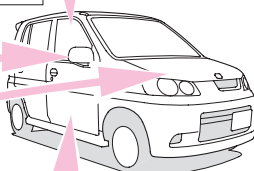
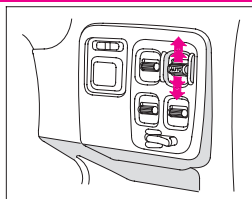
左右の切り換えスイッチを調節したい方向に動かし、調節スイッチで角度を調節します。



パワーウィンドー

44ページ

スイッチを上下に動かして開閉します。

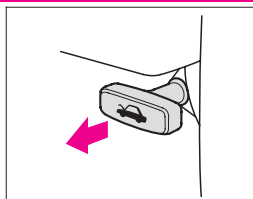


ボンネット

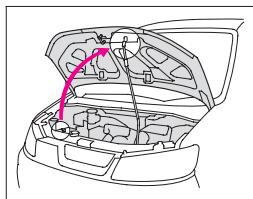
38ページ

開けた

①運転席足元のノブを引きます。



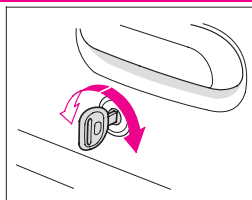
②ボンネットのレバーを押し上げながら開け、ステーで固定します。



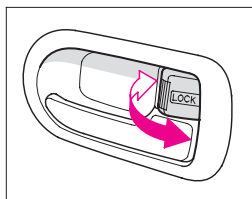
ドア

34ページ

車外からは、キーを回して施錠、解錠します。



車内からは、各ドアノブで操作します。

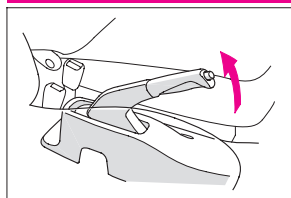


パワードアロック

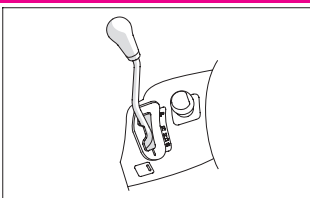
運転席のドアを施錠(解錠)すると、他のドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。

エンジンのかけかた

92ページ



①パーキングブレーキをかけます。



②セレクトレバーをPにします。



③アクセルペダルを踏まずに、スターターを回します。

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

POINTS

6

- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 20
- 駐車や停車はしっかりと…………… 24
- こんなことにも注意をしよう…………… 26

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

＜メンテナンスノート参照＞

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダプリモ店で点検を受けてください。（音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・）
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

＜58ページ参照＞

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。

CHECK



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



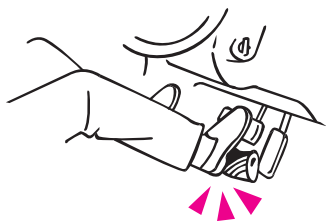
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。

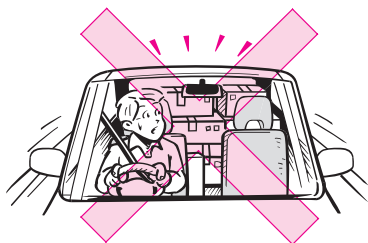


運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



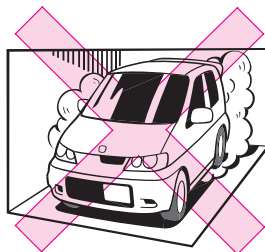
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。
後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダプリモ店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・ 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・ インstrumentパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・ お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。
- チャイルドブーフをお使いください。＜37ページ参照＞

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート※をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- この車には、ISO FIX対応のチャイルドシートを固定するための専用バーが装備されています。この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ、固定し使用することができます。

チャイルドシート固定専用バー

→68ページ

- Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド)シート	7～18	65～100	4か月～4才
学童用 (ジュニア)シート	15～32	100～135	4才～10才

ISO FIXタイプ

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～9	～75	～9か月
幼児用※ (チャイルド)シート	9～25	75～115	9か月～6才

※：幼児用(チャイルド)シートは学童用(ジュニア)シートとしても使用できます。

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- ・ISO FIX対応以外のチャイルドシートは、シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →60ページ

チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →66ページ

- ・ISO FIX対応のチャイルドシートは、専用バーを用いて固定します。チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

チャイルドシート固定専用バー

→68ページ

- ・詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。

- ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

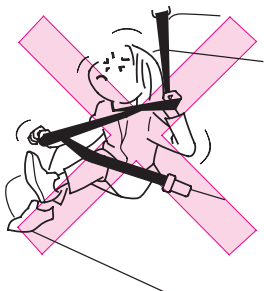
お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないよう、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
＜44ページ参照＞
- 走行中、一時停止のときなど、窓から手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。
ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



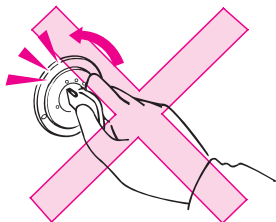
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたすらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。



長い下り坂ではエンジンプレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、②を使って、エンジンプレーキを併用してください。

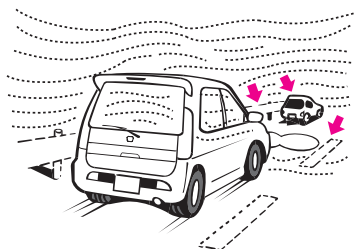


エンジンプレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。

**雨天時の走行には注意を。**

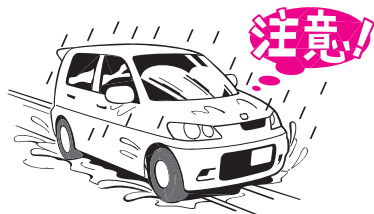
- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→216ページ

**水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。**

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。

<78ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<99ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

- 回で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンがかかるまえに。

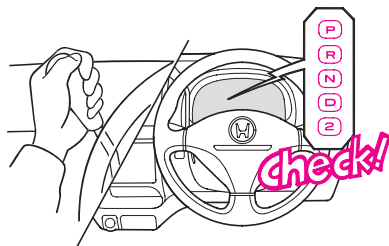
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンがかかるとき。**

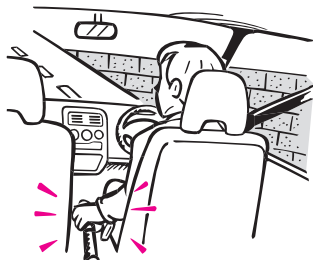
- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。



安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。

- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがP以外入っているとき、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがP以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐRからNにもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、Rに入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Rからのセレクトレバー操作はできません。

- ・ エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・ セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- R以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

R以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- Rに入れるとブザーが鳴ります。

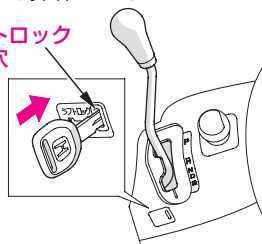
- ・ セレクトレバーがRのときにブザーが鳴り、Rに入っていることを運転者に知らせます。

- ・ 車外の人には音が聞こえませんので、ご注意ください。

- 万一、Rからセレクトレバーが操作できないときは：

- ・ エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・ キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・ キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

シフトロック
解除穴

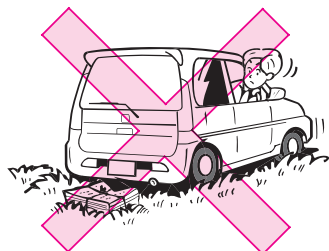


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

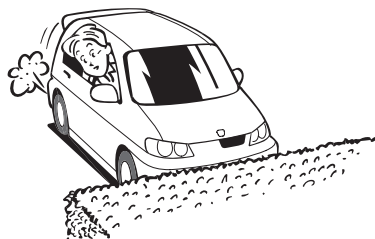
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。

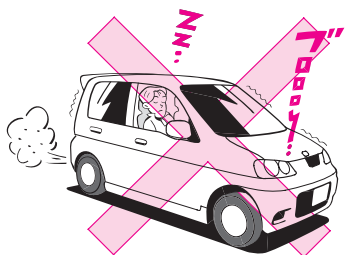


仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

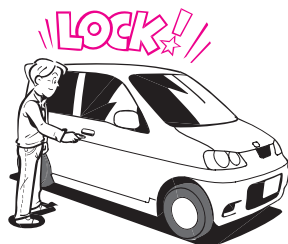
無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
- 下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
- さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意しよう

タバコの吸いがらは火を消して。

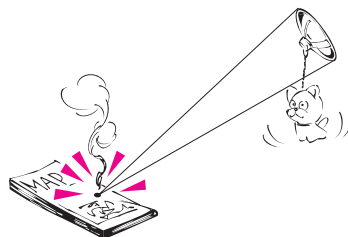
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

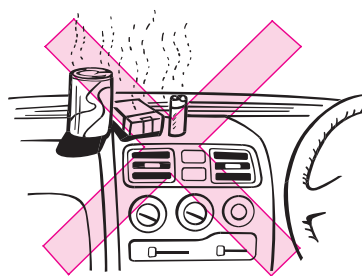
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
 - ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
 - ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

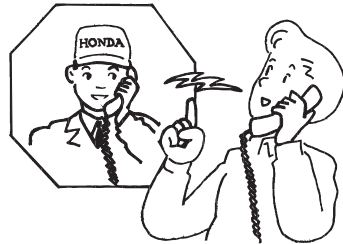
- ホイールは、LIFE DUNK専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダプリモ店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダプリモ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

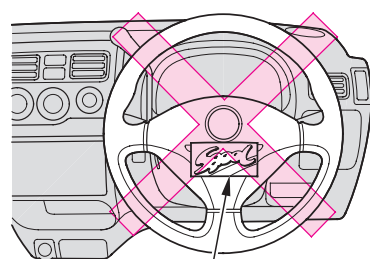
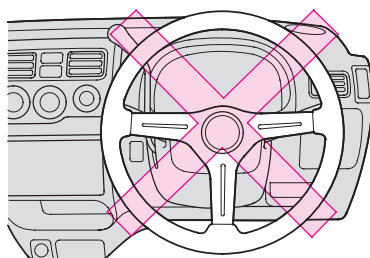
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

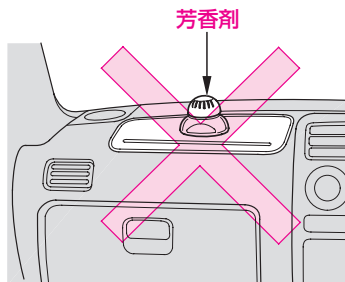
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、ホンダプリモ店にご相談ください。

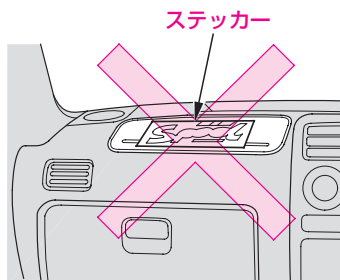
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤



ステッカー

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

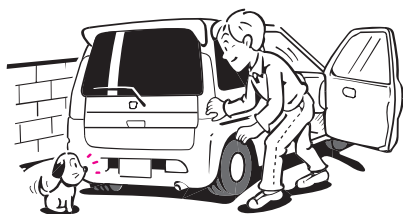
- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

死角に注意!

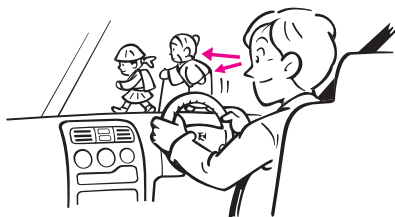


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

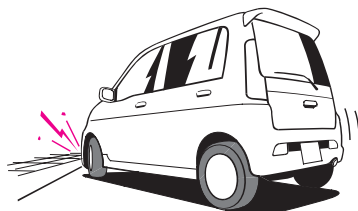
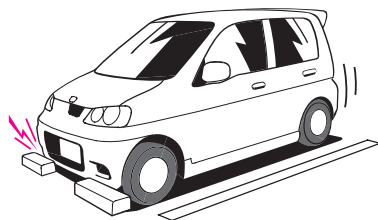


安全ドライブのための必読6ポイント

車止めなどに注意して。

●次のような場合には、フロントバンパーを損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・ 車止めのある場所への駐車
- ・ 路肩に沿っての駐車
- ・ 路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・ 凹凸やわだちのある道路の走行
- ・ くぼみ(穴)のある個所の通過



ターボ車の取り扱いかた。

ターボ装置は、排気ガスの圧力でタービンを回してエンジンに大量の空気を圧縮して送り込み、より大きな馬力を引き出す非常に精密に作られた装置です。

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

●高速走行、登坂走行直後はすぐにエンジンを止めないでください。

- ・必ずアイドリング運転を行い、ターボ装置を冷却するようにしてください。

《エンジン停止前のアイドリング運転時間の目安》

運転状況	アイドリング時間
市街地、郊外などの一般走行	必要なし
高速走行	約1分
登坂路の連続走行	約2分

●高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあとの再始動時に、高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありませぬ。約1分間アイドリングをするか、走行すると消灯します。

●エンジン始動直後のエンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速はしないでください。

●エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期を必ず守ってください。

- ・タービンは毎分10万回転以上の高回転で回り、しかも700℃以上の高温になります。

その潤滑と冷却は、エンジンオイルにより行われます。したがって、定められた距離または期間でエンジンオイル、オイルフィルターの交換を行わないと、劣化したエンジンオイルによりタービン軸受部の固着や異音の発生など、故障の原因になります。

《エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期》

エンジンオイル	5,000kmごと または6か月ごと (どちらか早い方)
オイルフィルター	20,000kmごと 「10,000kmごと」※

推奨エンジンオイル →223ページ

※:「」は、厳しい使われかたをした場合(シビアコンディション)の交換時期を示します。シビアコンディション条件については、メンテナンスノートをご覧ください。

車を運転する前に

●各部の開閉

キー	34
ドアの施錠・解錠	34
ボンネット	38
テールゲート	40
燃料補給口	42
パワーウィンドー	44

●シートの調節

正しい運転姿勢	46
フロントシート	48
リヤシート	50
カーゴスペースの作りかた	52
前席フルフラットシート	54

●バックミラーの調節

ルームミラー	56
ドアミラー	56

●シートベルト

シートベルト	58
着用のしかた	64

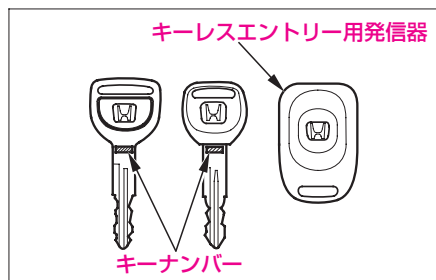
●チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構付き シートベルト	66
チャイルドシート 固定専用バー	68

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドア、テールゲートの施錠・解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →36ページ

キーレステールゲートオープナー

→40ページ

知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダプリモ店へご連絡いただければ、購入することができます。

キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダプリモ店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

室内灯 →154ページ

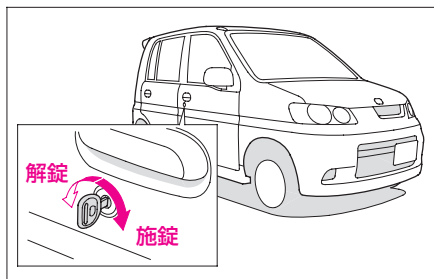
パワードアロック

運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。



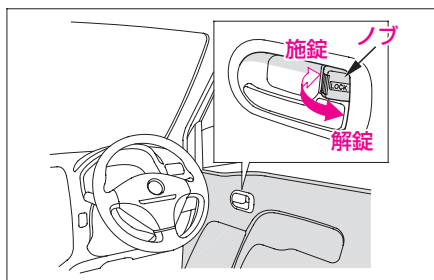
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。



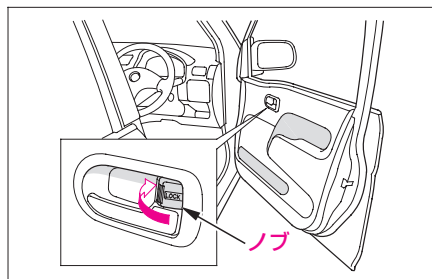
●キーを使わないで施錠する場合

🎓 知識

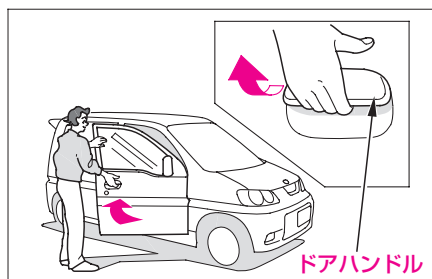
- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

前席ドア

①ノブを施錠の方向に動かします。



②ドアハンドルを引いたままドアを閉めます。



🎓 知識

- ドアハンドルの引きかたが不十分なときや、半ドアの状態からドアを閉めたときは、施錠されないことがあります。
ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。

後席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

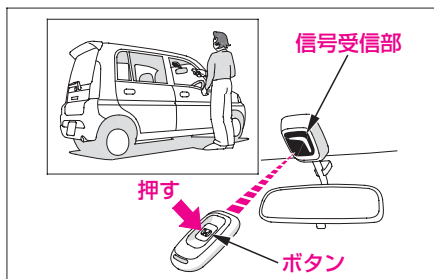
●キーレスエントリー

ドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



発信器をルームミラー上部にある信号受信部に向け、ボタンを押します。

ボタンを押すとすべてのドアやテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



ドアの施錠・解錠がキーを差し込まずにできます。

🎓 知識

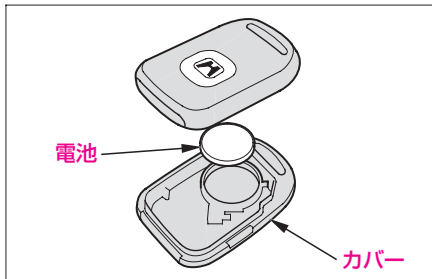
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 確実に作動させるため、発信器はドア、テールゲートのガラスより50cm以内の距離で使ってください。なお、ガラスにフィルム等を貼ると作動距離が短くなります。
- 蛍光灯の下などでは、正常に作動しないことがあります。異常ではありません。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドアが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR2032

カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



知識

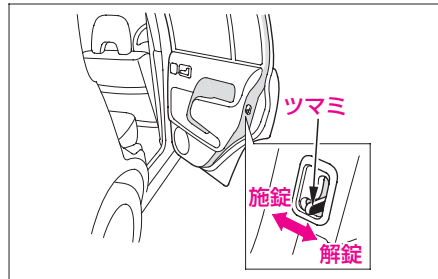
- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

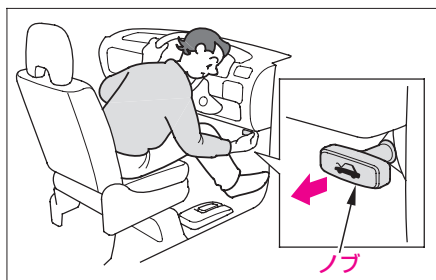
知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

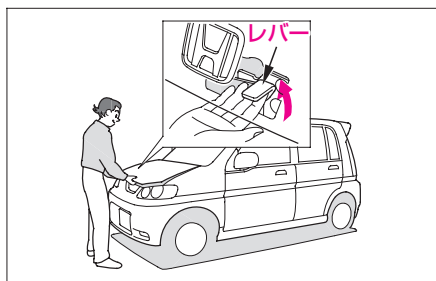
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



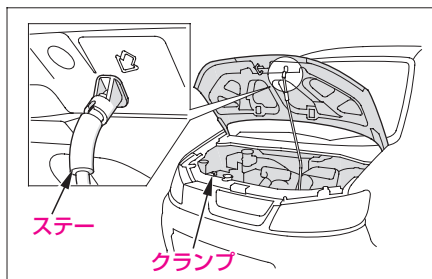
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



🎓 知識

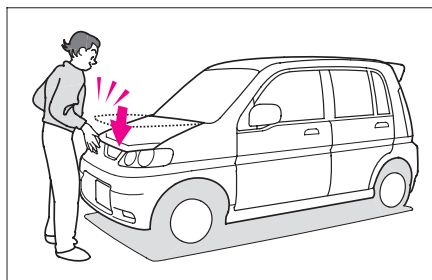
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

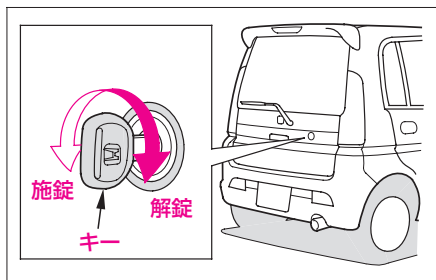
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

テールゲート

●施錠・解錠

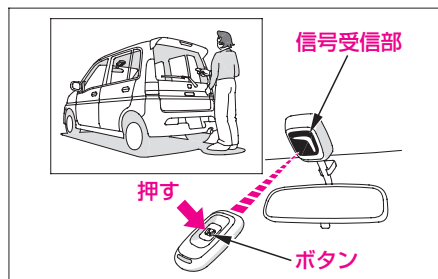
車外から行う場合

キーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。



キーレステールゲートオープナー

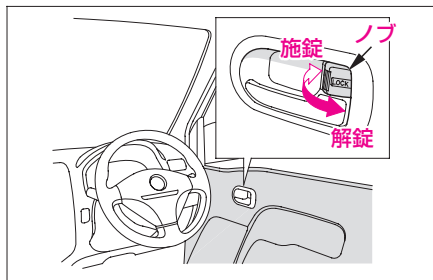
キーレスエントリー用発信器を使ってテールゲートの施錠・解錠ができます。発信器をルームミラー上部にある信号受信部に向け、ボタンを押します。ボタンを押すとすべてのドアやテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



キーレスエントリー →36ページ

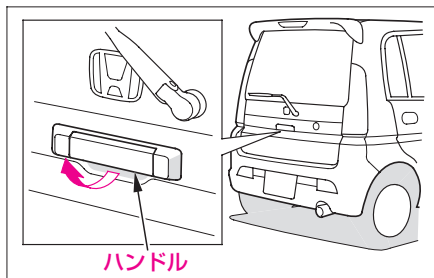
車内から行う場合

運転席ドア部のノブを操作すればすべてのドアとテールゲートの施錠(解錠)ができます。

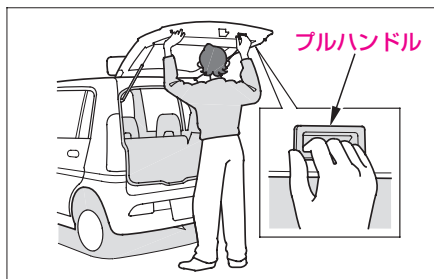


**●開閉**

テールゲートを解錠してから、ハンドルを引き静かに引き上げて開けます。



閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。

**⚠注意**

- テールゲートを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🎓知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：無鉛ガソリン
(無鉛レギュラー又は
ハイオク)

タンク容量：31 ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
- 燃料補給作業は静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

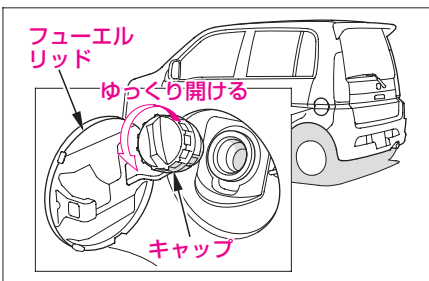


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③キャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

🎓 知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
- 燃料補給は自動停止後に追加補給しないでください。気温の変化によりあふれることがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠ 注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●運転席以外のウィンドーの開閉

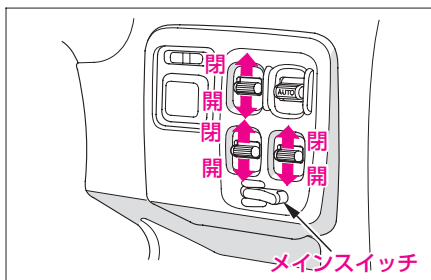
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

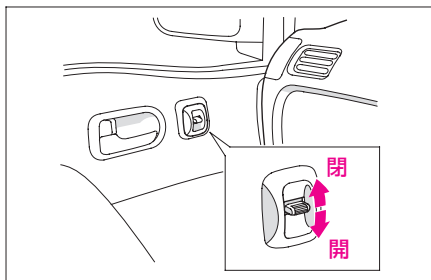
開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。

・運転席スイッチ



・その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。
- 後席(左、右)のウィンドーは、全開させません。

●はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物の場合はさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く上に押し続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などではさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを上押し続け、ウィンドーを締め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

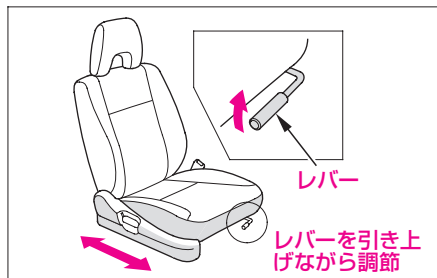
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

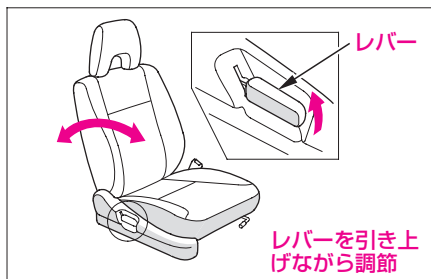
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシート

●前後位置の調節



●背もたれの調節





●ヘッドレストの調節

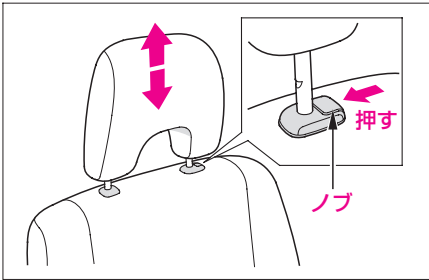
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするとき、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするとき、ノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

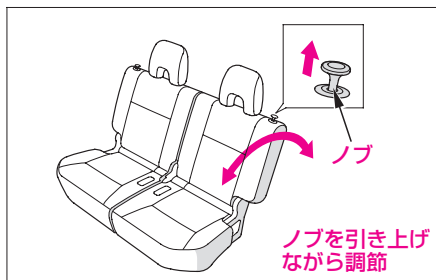
走行前に必ず正しい位置に調節してください。

リヤシート

●背もたれの調節

ノブを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。

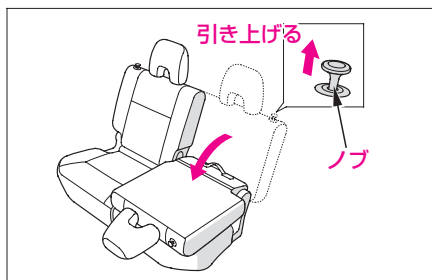
片側ずつ独立して行えます。



●背もたれの倒しかた

ノブを引き上げ、背もたれを前に倒します。

片側ずつ独立して行えます。



●起こしかた

ノブを引き上げながら、背もたれを起こして固定します。



⚠ 注意

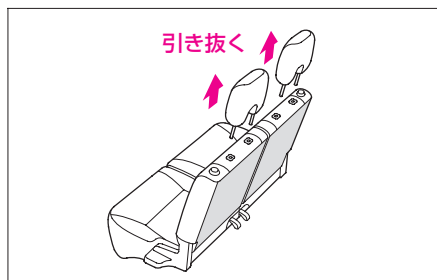
- 倒した背もたれの上やカーゴルーム内には人を乗せて走行しないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🎓 知識

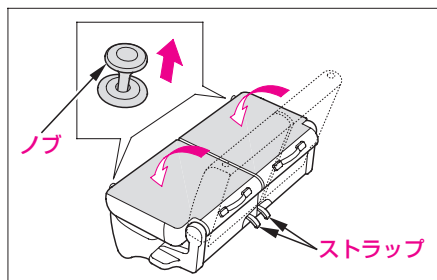
- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

カーゴスペースの作りかた

- ①フロントシートを前方へ移動します。
- ②リヤシートのピローを取り外します。

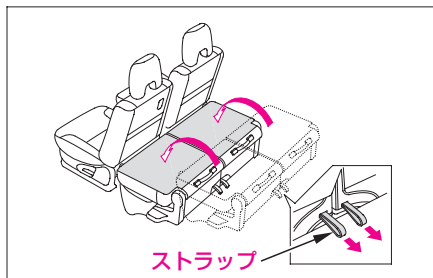


- ③ノブを引き上げながら、リヤシートの背もたれを前に倒します。



- ④ストラップを引きシートロックを解除します。

- ⑤シートを上へ持ち上げながら前方へ押し出し落とし込みます。
平で広い荷室ができます。

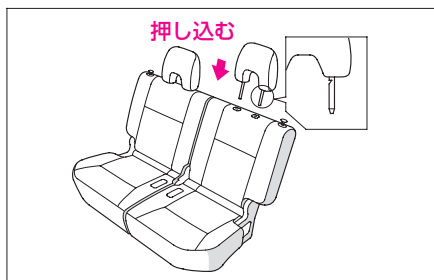


知 識

- この場合フロントシートの後方へのスライド量は制限されます。



元に戻すときは逆の手順で行います。
シートを元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。



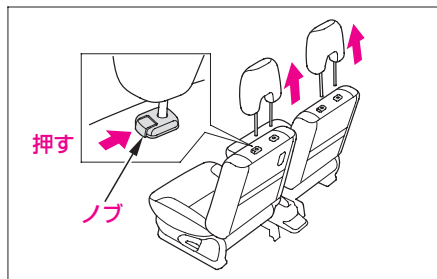
ピローは最後まで押し込んでください。

前席フルフラットシート

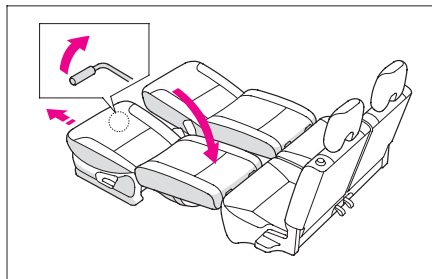
前席シートをフルフラットにできます。
片側ずつ独立して行えます。



- ① ノブを押して、フロントシートのヘッドレストを外します。



- ② レバーを引き上げながらフロントシートを前方いっぱいに動かします。
背もたれを後ろに倒して固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。



⚠ 注意

- フルフラット状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。
ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フルフラット状態で、シートの上を走り回らないでください。
また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。
シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

🎓 知識

- フルフラットにしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フロントシートの背もたれを起こすときは、背もたれが急に戻るので必ず手を添えて操作してください。

バックミラーの調節

ルームミラー

知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ドアミラー

知 識

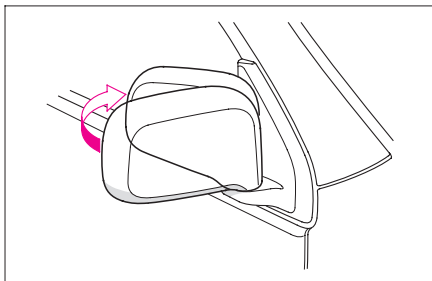
- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●収納のしかた

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。

手動格納式

タイプ別装備





電動格納式

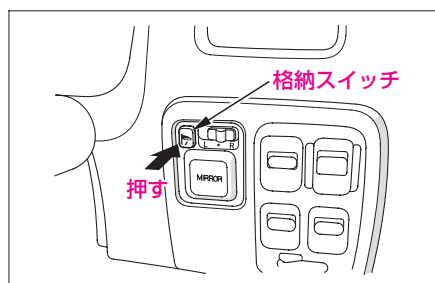
タイプ別装備

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		



エンジンスイッチが“0”または“1”のときは手動で操作ができます。



知識

- 次の場合は手動で操作しても、ミラーは自動的に格納スイッチの状態に戻ります。
 - ・ エンジンスイッチが“II”のとき
 - ・ 手動で操作したあとにエンジンスイッチを“II”にしたとき

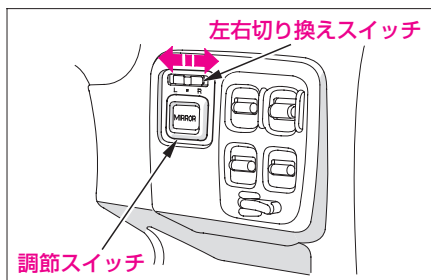
●角度調節のしかた

電動式

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ① 左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ② 調節スイッチで角度を調節します。

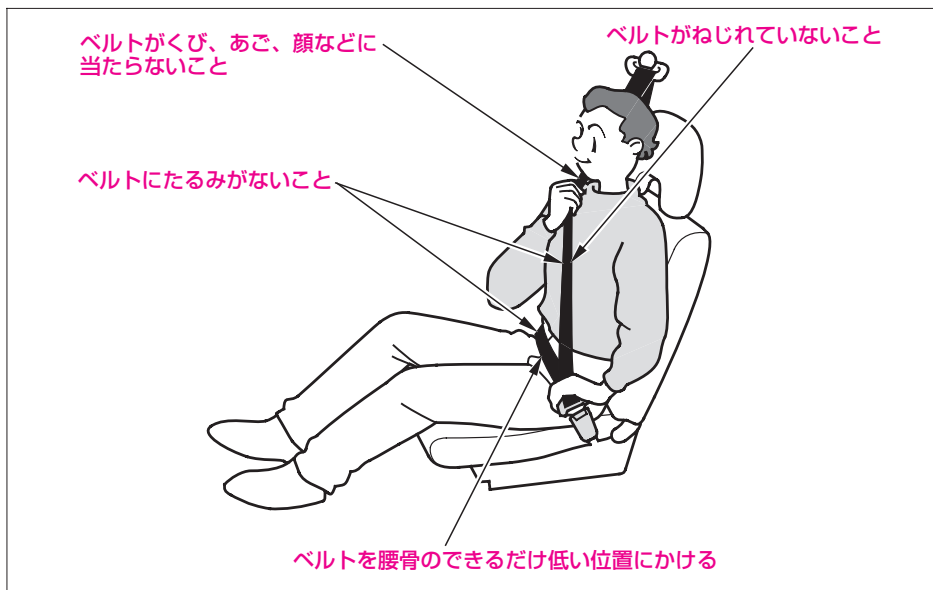


直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



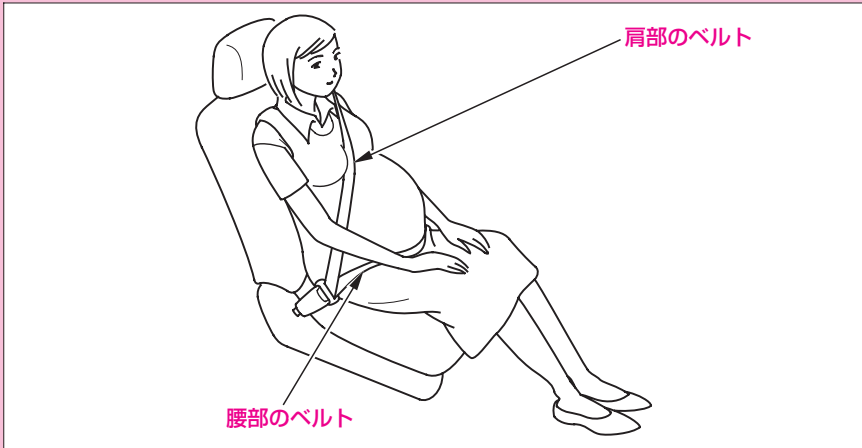
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。
ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。
また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト →66ページ



●三点式シートベルト

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

チャイルドシート固定機構(後席)

→66ページ

知識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。
このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →67ページ

シートベルトプリテンショナー

→116ページ

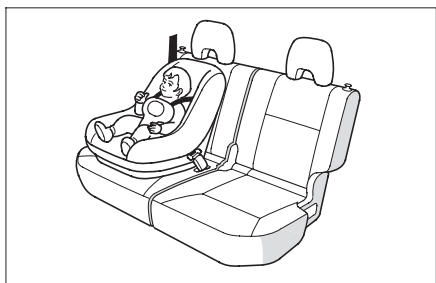
●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

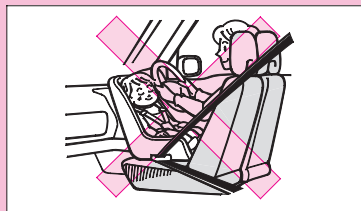
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。**SRS**エアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、**SRS**エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。

ISO FIX対応以外のチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

ISO FIX対応のチャイルドシートは、専用バーを用いて固定します。チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	7～18	65～100	4か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

ISO FIXタイプ

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～9	～75	～9か月
幼児用※ (チャイルド) シート	9～25	75～115	9か月～6才

※：幼児用(チャイルド)シートは学童用(ジュニア)シートとしても使用できます。

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

前席シートベルトは、前席に乗員がいなくても、SRSエアバッグが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないてください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。
(→46ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席のシートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。

シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

🎓 知識

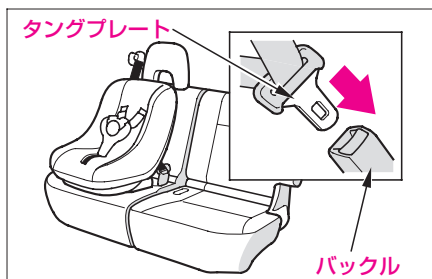
- ISO FIX対応のチャイルドシートを取り付けるとき

チャイルドシート固定専用バー

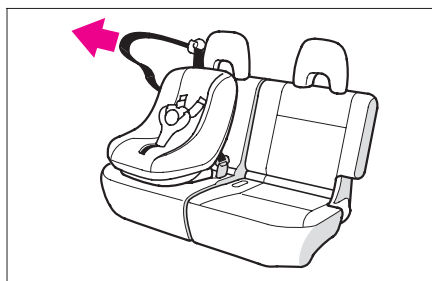
→68ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせませす。“カチカチ”と音がしますが、これはチャイルドシート固定機構の作動音です。このとき、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートなどがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートなどに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

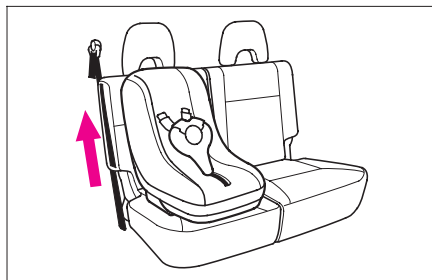


⚠ 注意

- チャイルドシートなどを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートなどがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

解除のしかた

- ①チャイルドシートなどからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



チャイルドシート固定専用 バー(後席)

後席には、ISO FIX対応のチャイルドシートを固定するための専用バーが装備されています。

この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

この場合、チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda純正品をご用意しています。

ご購入、ご使用に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

知 識

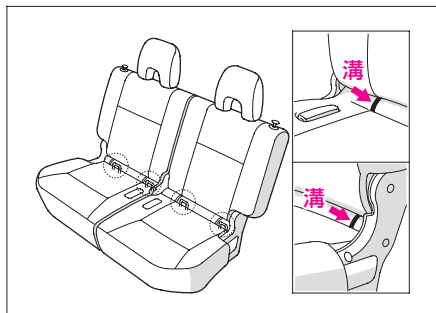
- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

→66ページ



●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①シートクッション後方の溝の中にある専用バーの位置を確認します。



- ②チャイルドシートをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。

⚠注意

- シートが確実に固定されているのを確認してからチャイルドシートを取り付けてください。
確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにシートといっしょにチャイルドシートが動き傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを取り付けるときは、専用バー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。
異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

2

車を運転するときに

●メーター72

●表示灯74

●警告灯78

警告灯の電球切れの点検83

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ84

ライトスイッチ86

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ87

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ87

ワイパー／ウォッシャー

スイッチ88

リヤデフロスタースイッチ90

ホーンスイッチ91

●運転のしかた

エンジンのかけかた92

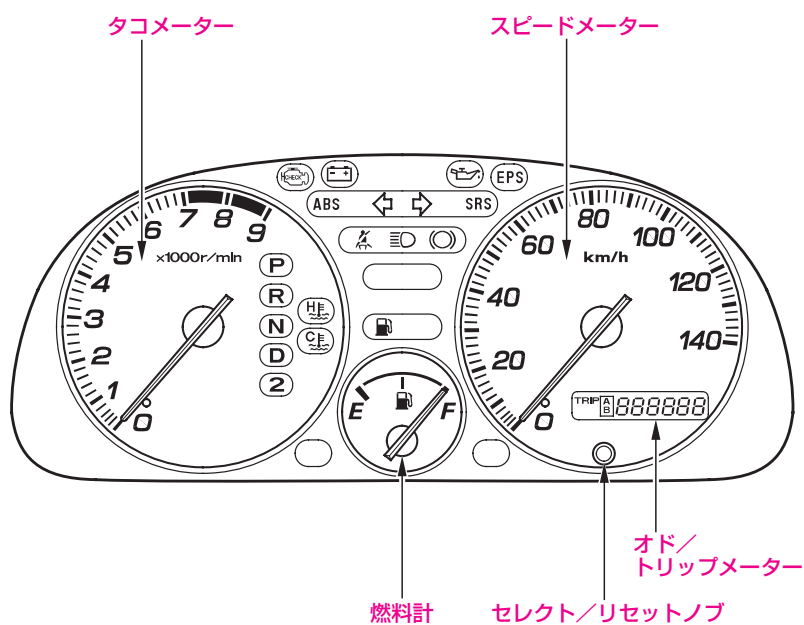
パーキングブレーキ94

セレクトレバーの操作96

オートマチック車の運転の

しかた99

メーター





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数……………7,000rpm

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が4,700rpmになると燃料供給が停止されます。

オド／トリップメーター

エンジンスイッチを“II”にするとオドメーターまたはトリップメーターが表示されます。



表示の切り換え

セレクト／リセットノブを押すごとに「…“オドメーター”→“TRIP A”→“TRIP B”…」の順に表示が切り換わります。

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

- ① セレクト／リセットノブを押して“TRIP A”または“TRIP B”を選びます。
- ② セレクト／リセットノブをメーター表示が“0”になるまで押して、リセットします。

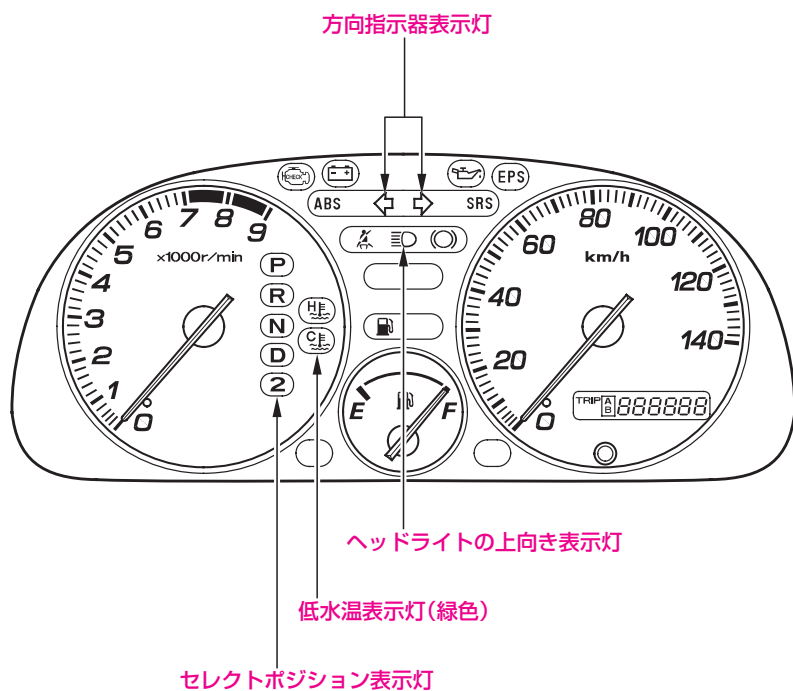
燃料計

エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →42ページ

表示灯





表示灯は下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ	
	TS	TR
 方向指示器表示灯	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○
P R N D 2 セレクトポジション 表示灯	○	○
 低水温表示灯(緑色)	○	○

○：標準装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→189、190ページ

電球(バルブ)のワット数

→222ページ



ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



P

R

N

D

2

セレクトポジション表示灯

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

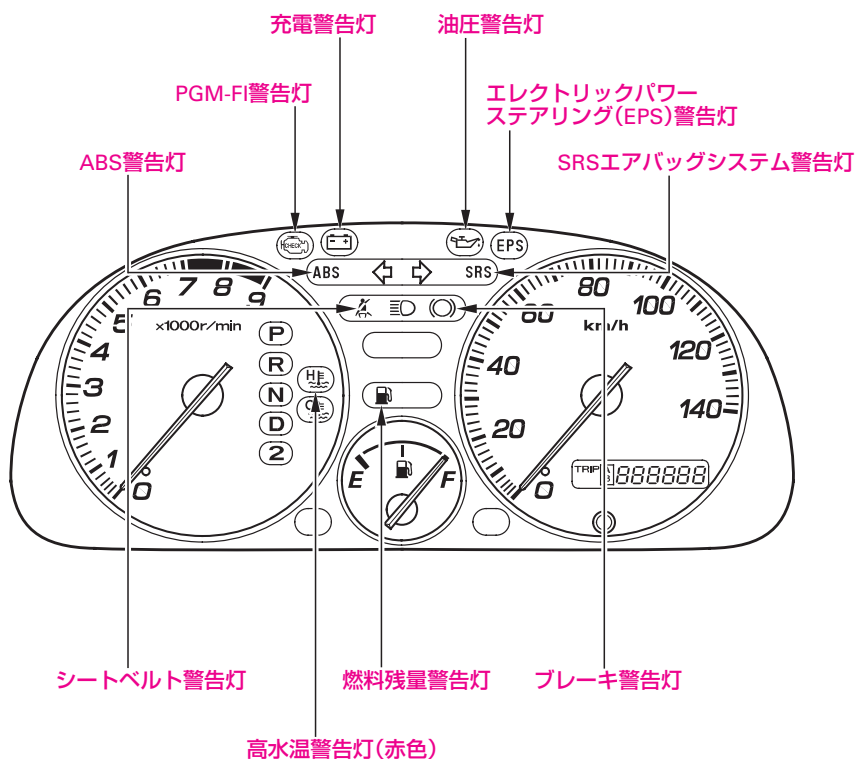
**低水温表示灯(緑色)**

エンジン冷却水の温度が低いときに点灯します。

**アドバイス**

- 暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。ホンダプリモ店で点検を受けてください。

警告灯





警告灯は下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ	
	TS	TR
 油圧警告灯	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○
 充電警告灯	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○
 シートベルト警告灯	○	○
 燃料残量警告灯	○	○
 高水温警告灯(赤色)	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○
 アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	○	○
 エレクトリックパワーステア リング(EPS)警告灯	○	○

○：標準装備



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダプリモ店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。また、ABSが異常のときABS警告灯と同時に点灯することがあります。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

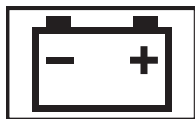
- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダプリモ店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダプリモ店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、同時に点灯したときは、ABSの異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →82、119ページ

**充電警告灯**

充電系統が異常のときに点灯します。

**点灯したときは**

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

**PGM-FI警告灯**

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

**点灯したときは**

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

**シートベルト警告灯**

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

**燃料残量警告灯**

燃料タンク内のガソリン残量が5.5ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →42ページ



高水温警告灯(赤色)

エンジン冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯します。

点滅したときは

運転中に点滅した場合は、ゆっくり走行してください。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

オーバーヒートしたとき

→180ページ



知識

- 高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあとの再始動時に、高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありません。約1分間アイドリングをするか、走行すると消灯します。



SRSエアバッグシステム警告灯 (シートベルトプリテンショナー 警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯

→115ページ

シートベルトプリテンショナー警告灯

→117ページ



アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→119ページ



EPS

エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯

EPSが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダプリモ店で点検を受けてください。

知 識

- 警告灯が点灯しているときは、パワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が重くなります。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰します。
システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。

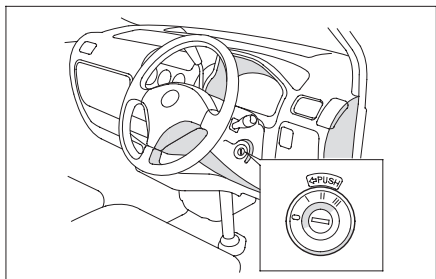
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダプリモ店へご連絡ください。

- **油圧警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **ブレーキ警告灯**
(パーキングブレーキレバーを完全に戻すと消灯)
(パーキングブレーキレバーが戻っているときは数秒後消灯)
- **充電警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **PGM-FI警告灯**
(数秒後消灯)
- **SRSエアバッグシステム警告灯**
(約 6 秒後消灯)
- **アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯**
(数秒後消灯)
- **エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **高水温警告灯(赤色)**
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

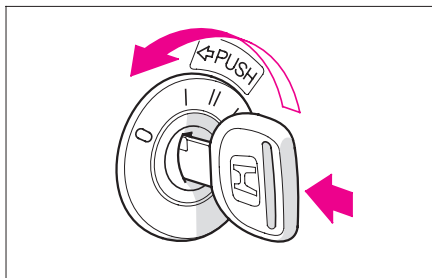
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- ・セレクトレバーをⅡに入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがⅡ以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



知 識

- エンジンを止めた状態で“Ⅰ”または“Ⅱ”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

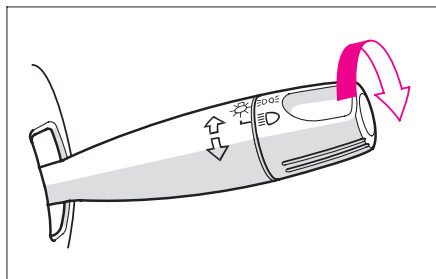
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	☀	☾
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

🎓 知 識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

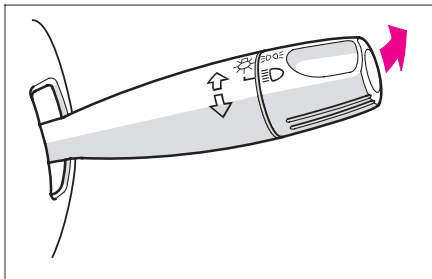
レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→76ページ

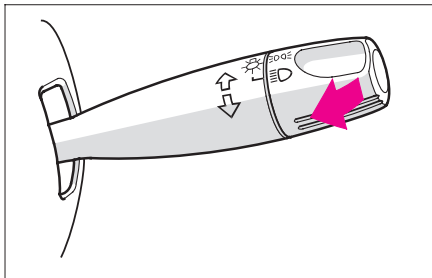


🎓 知 識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

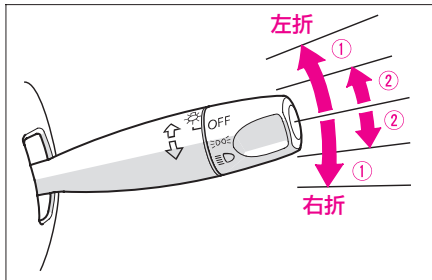
レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。





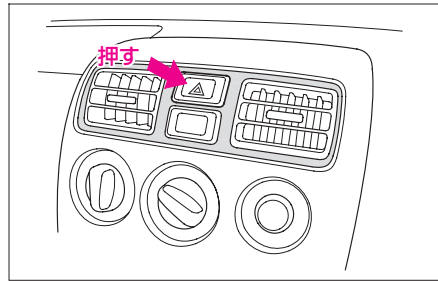
方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。
ふだんは①の位置で使います。
この位置ではハンドルの切り角が小さい
ときには戻らない場合もあります。戻ら
ないときは手で戻してください。
車線変更などでは②の位置に軽く手で押
さえながら使います。



非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器の
ランプが点滅します。
故障でやむをえず路上駐車するとき使
います。



知 識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも
約2時間以上使うとバッテリー容
量が低下し、エンジンの始動がで
きなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード（ゴム部）を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード（ゴム部）がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード（ゴム部）を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。
デフロスター →130、135ページ

🎓 知識

- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてください。また、倒すときは、助手席側を先に倒してください。

ワイパーアームの起こしかた

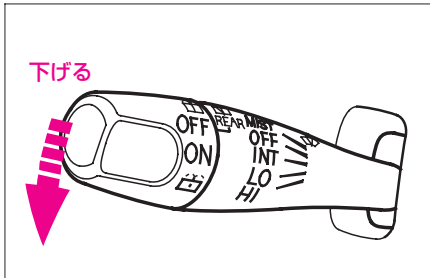
→217ページ



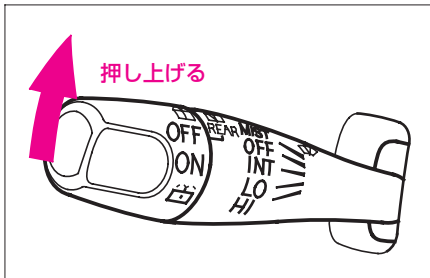
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



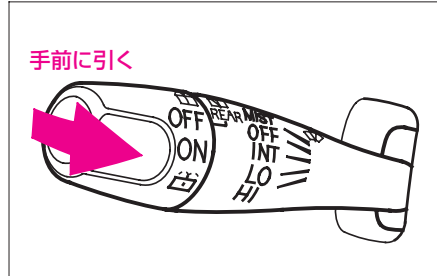
- OFF 停止
- INT(間欠) 雨量の少ないとき
- LO(低速) 普通雨量のとき
- HI(高速) 雨量の多いとき



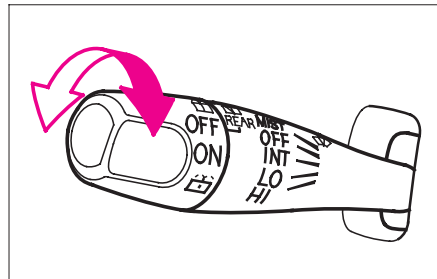
MIST
レバーを押し上げている間、低速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



●リヤガラス



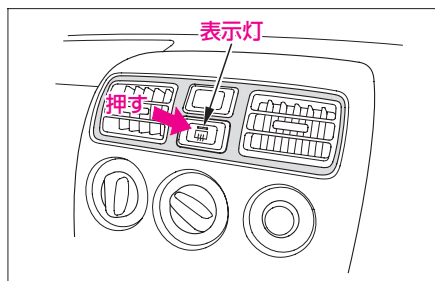
- OFF 停止
- ON ワイパーが作動します。
-  スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



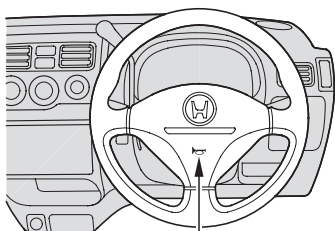
知 識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



ホーンスイッチ

運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

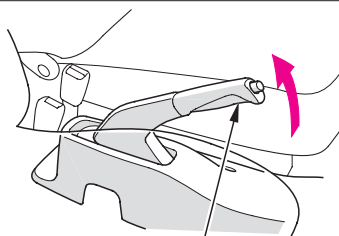
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダプリモ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作 → 94ページ

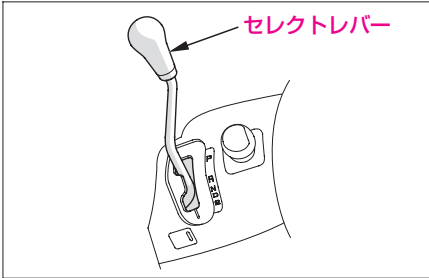


パーキングブレーキ



- ②セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →96ページ



- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



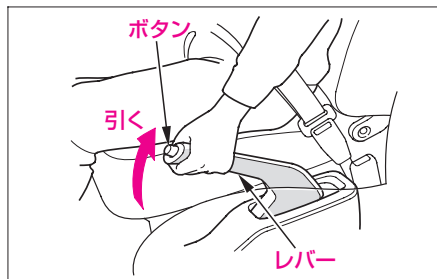
知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

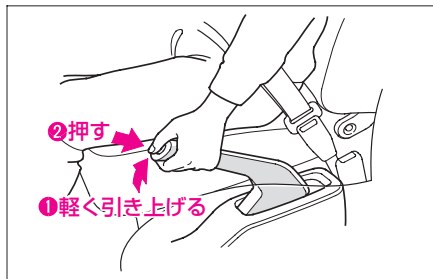
ボタンを押さずにレバーをいっぱい引きます。



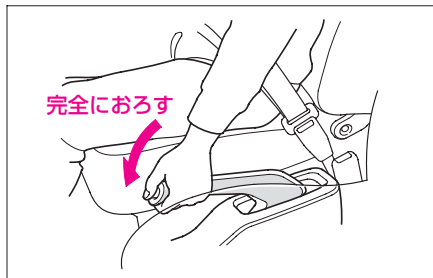
後輪ブレーキがききます。

解除するとき

①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。





注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →213ページ

セレクトレバーの操作

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーがP以外の場合は、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーがPに入っていることを
運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためPで行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。

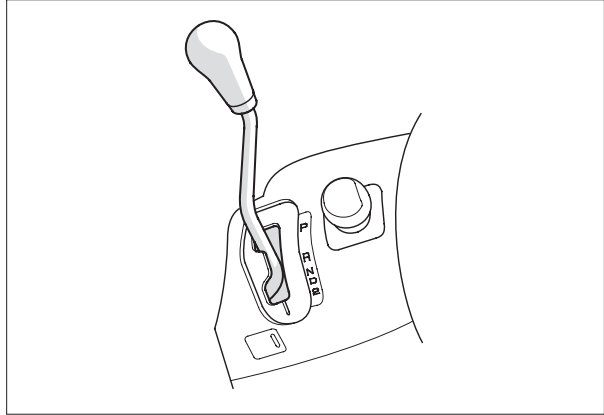
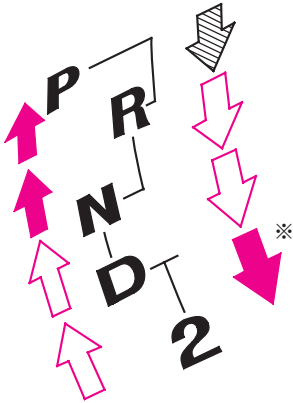
2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままで変速されません。)



●セレクトレバーの動かし方



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを手前に引いて操作します。



そのままレバーを操作します。



レバーを手前に引いて操作します。

※：いっぱい引くと回に入らないようになっていました。少し引いて操作してください。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、レバーを手前に引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。
- いつもレバーを手前に引いて操作すると意に反して回回回に入れてしまうおそれがあります。



の操作は、レバーを手前に引かず動かし習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
①	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
②	0 ～75km/h	2 速固定

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓 知 識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

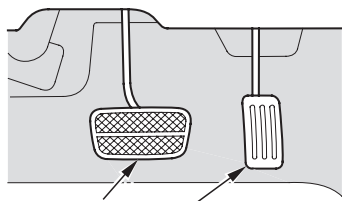


オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



ブレーキペダル

アクセルペダル

知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

エンジン始動

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。



知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ① 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD、後退はRに入れる。



注意

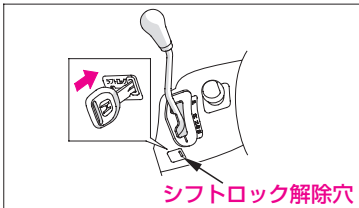
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ② レバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で再確認。
- ③ パーキングブレーキをもどす。
- ④ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→80ページ)
- ⑤ ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。



知 識

- セレクトレバーをD以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- 万一、ブレーキペダルを踏んでもDから他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



知 識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

急な坂道での発進

セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

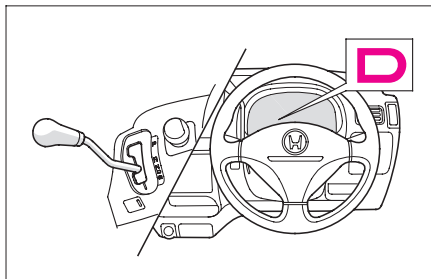
走行

走行中はセレクトレバーを $\square$ にしないでください。

知 識

- $\square$ にするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。
また $\square$ にしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



セレクトレバーを $\square$ にして走行します。
アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から3速まで自動的に変速されます。

アドバイス

- 高速走行中に $\square$ に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

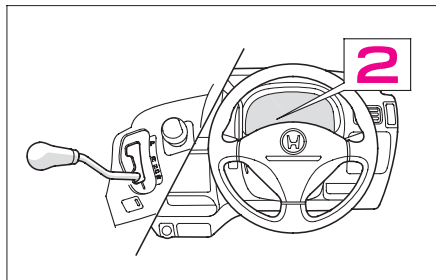


急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを②にしておくと、2速で固定され、より力強い走行ができます。



下り坂走行

下り坂を④のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーを②にします。

⚠ 注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →18ページ

停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で④⑤以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが④⑤以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを④に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが④⑤以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。



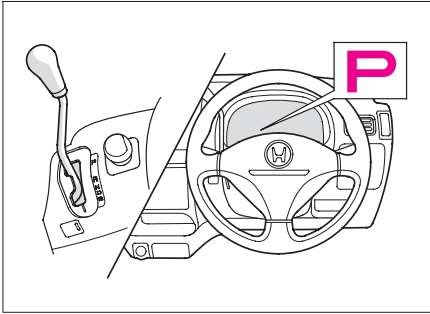
知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが④にあることを確認してください。
- セレクトレバーが④でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知 識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

⚠ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

🎓 知 識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

しくみ108

作動するとき110

作動しないとき111

SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために112

お子さまを乗せるときは113

取り扱いについて114

●シートベルト

プリテンショナー

シートベルトプリテンショナーの

しくみ116

取り扱いについて117

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ118

運転のしかた118

取り扱いについて119

●四輪駆動機構(4WD)

運転するとき120

取り扱いについて120

●その他の安全装備121

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

**SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。**

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サブリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を検知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠ 注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。

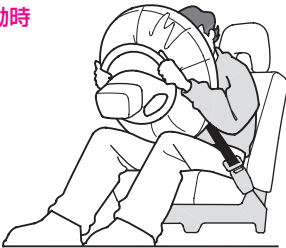


知識

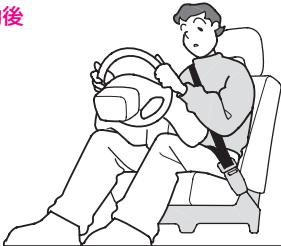
- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、**SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。**
- 膨らんだ**SRSエアバッグ**はすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- **SRSエアバッグ**が膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- **SRSエアバッグ**は一度膨らむと再使用できません。
ホンダプリモ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



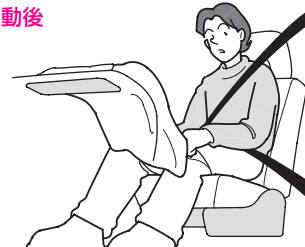
助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



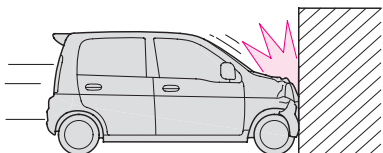
作動後



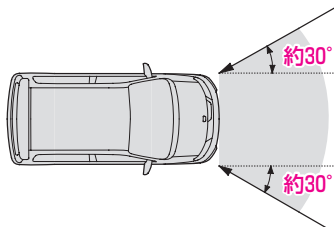
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

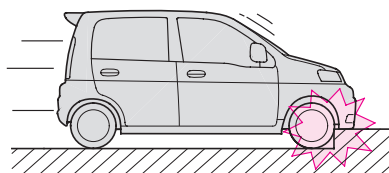


知 識

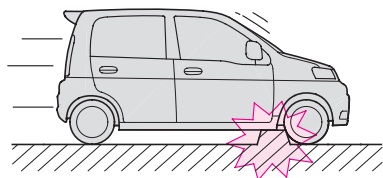
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

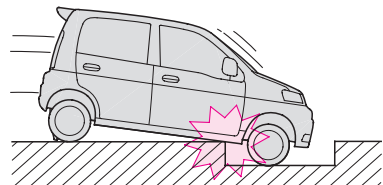
縁石などに衝突したとき



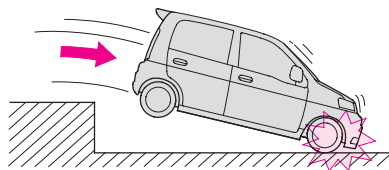
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



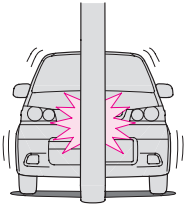
高いところから落ちたとき



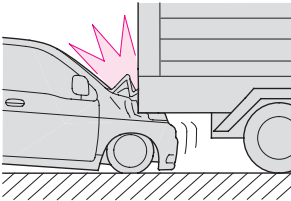


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

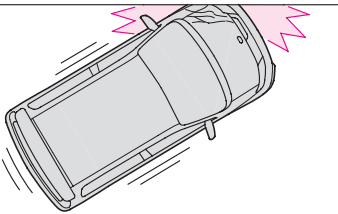
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



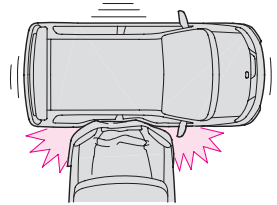
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

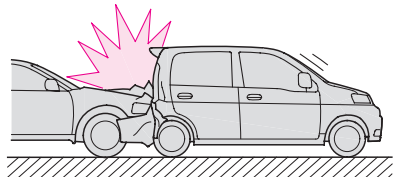
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果が無いので作動しません。

横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



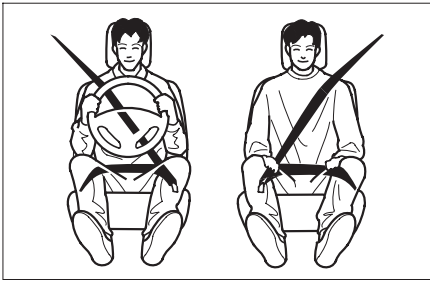
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足を置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

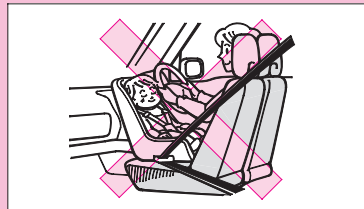
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートなどをお使いください。

●チャイルドシートなどの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。**SRSエアバッグ**が膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

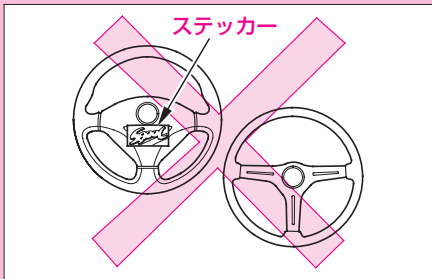
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、**SRSエアバッグ**から遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



取り扱いについて

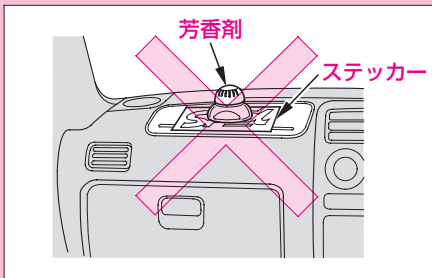
⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インstrumentパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



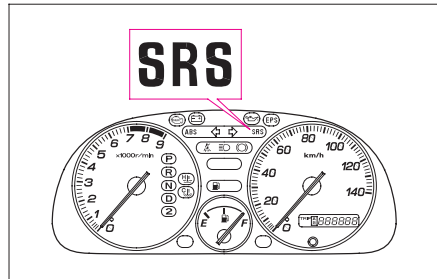


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、**SRSエアバッグシステム**に影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- **SRSエアバッグシステム**装備車を廃棄するときは必ずホンダプリモ店にご相談ください。正しく取り扱わないと**SRSエアバッグシステム**が思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると**SRSエアバッグ**の誤作動につながります。
(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、**SRS**ユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダプリモ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときに**SRSエアバッグ**が膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

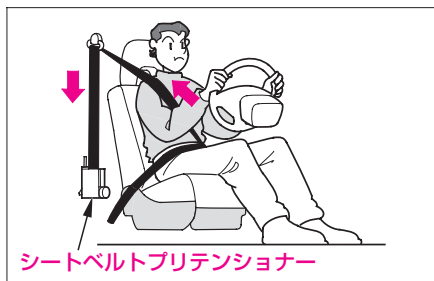
●シートベルトプリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →110ページ

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →58ページ

- ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →46ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダプリモ店で交換してください。なお、シートベルトを着用していても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

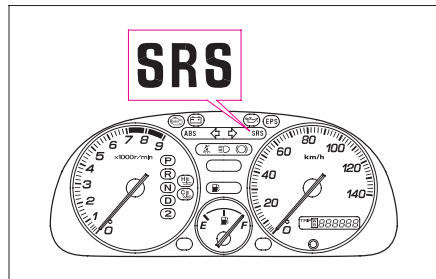
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダプリモ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー警告灯(SRSエアバッグシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダプリモ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

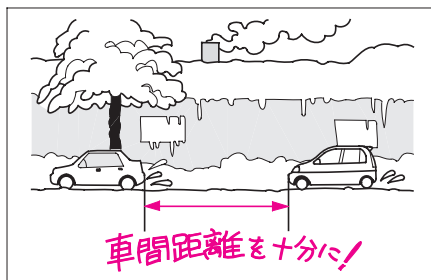
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





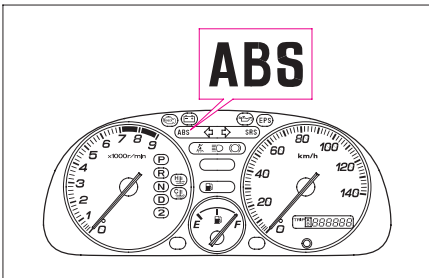
取り扱いについて

知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダブリモ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダブリモ店で点検を受けてください。

四輪駆動機構(4WD)

タイプ別装備

運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

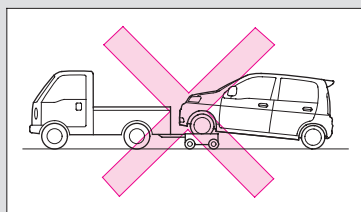
取り扱いについて

アドバイス

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。

駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 →166ページ





その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→23ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。
(→61ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→81ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→89ページ)

4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	124
エアコンインデックス	125
オートエアコン	126
ヒーター・マニュアル式 エアコン	132

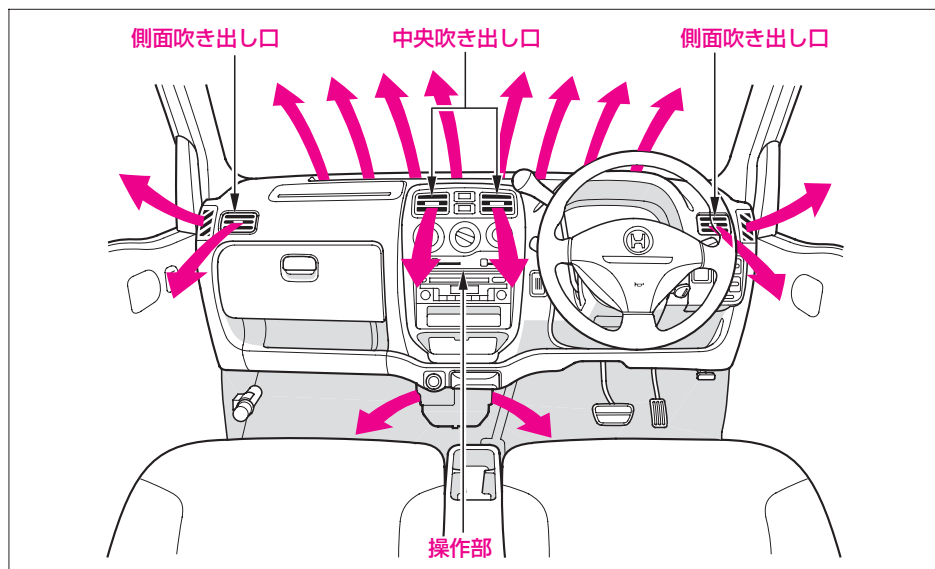
●オーディオ

上手な使いかた	138
アンテナ	140
オーディオインデックス	141
AM/FMラジオ一体式 CDステレオ	142

●室内装備品

室内灯	154
シガレットライター	155
灰皿	156
サンバイザー	156
小物入れ	157
カードホルダー	157
シートバックポケット	157
コンビニフック	158
カップホルダー	158

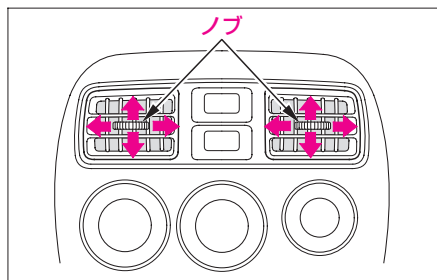
エアコン



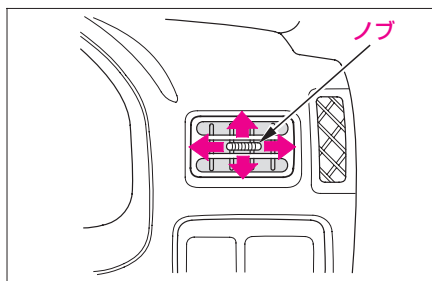
吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

・中央吹き出し口



・側面吹き出し口

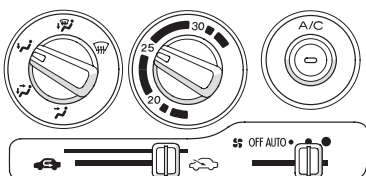




エアコンインデックス

オートエアコン

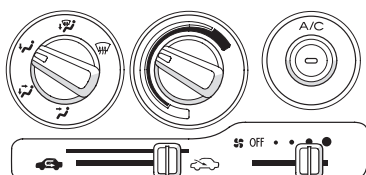
タイプ別装備



- ・オートエアコンを使うとき ……126
- ・マニュアルで使うとき ……129
- ・前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) ……130
- ・急速に霜を取りたいとき ……130
- ・梅雨時など湿度の高いとき ……130
- ・エアコンを常用しないとき ……131
- ・温度感知装置 ……131
- ・エアクリーンフィルター ……131

ヒーター・マニュアル式エアコン

タイプ別装備



- ・暖房するとき ……134
- ・急速に車内を暖めたいとき ……134
- ・曇り止め暖房をしたいとき ……134
- ・前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) ……135
- ・急速に霜を取りたいとき ……135
- ・梅雨時など湿度の高いとき ……135
- ・冷房するとき ……136
- ・急速に車内を冷やしたいとき ……136
- ・エアコンを常用しないとき ……137
- ・エアクリーンフィルター ……137

オートエアコン

タイプ別装備

●オートエアコンを使うとき

エンジンをかけた状態で使います。

温度調節ダイヤル

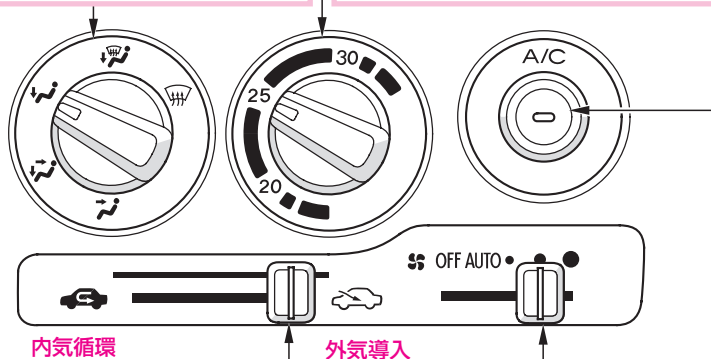
ダイヤルを回して温度を設定します。表示温度は室温設定時のめやすとなります。

吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。(右ページ参照)

エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えレバーが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。
冷房や除湿暖房をするときに使います。



内外気切り換えレバー

通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

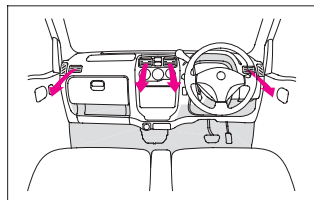
ファンスピード切り換えレバー

OFF	停止
AUTO	AUTO
・	弱
●	中
●	強

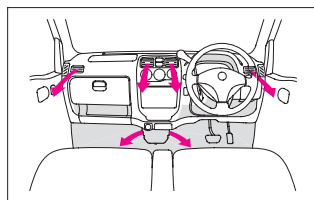


吹き出し口切り換えダイヤル

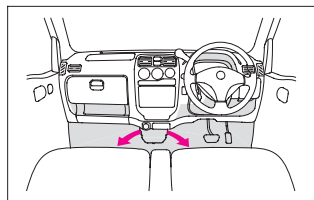
上半身に送風したいとき



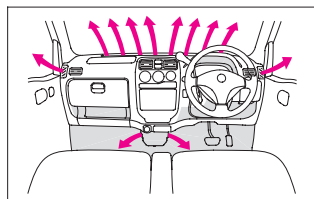
上半身、足元に送風したいとき



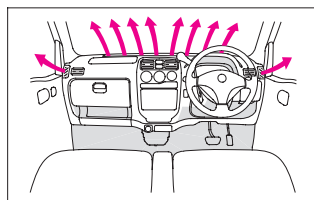
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき



通常の使いかた

- ①ファンスピード切り換えレバーを**AUTO**にします。
- ②吹き出し口切り換えダイヤルを設定します。
- ③温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。
- ④冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

停止するときはファンスピード切り換えレバーを“OFF”にします。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。



●マニュアルで使うとき

各スイッチ、ダイヤルを組み合わせる使えます。

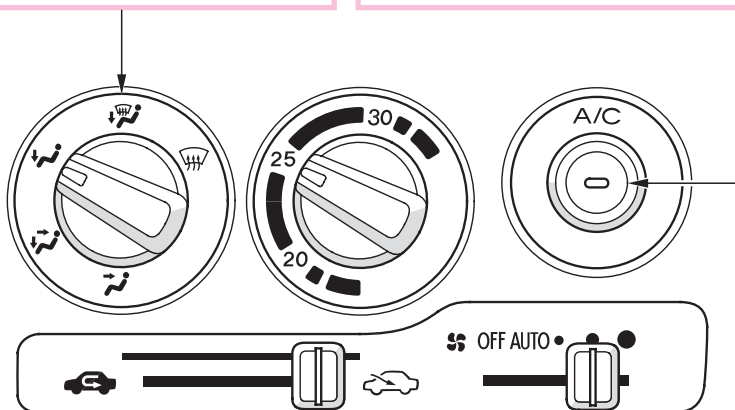
吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。

(127ページ参照)

エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えレバーが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。
冷房や除湿暖房をするときに使います。



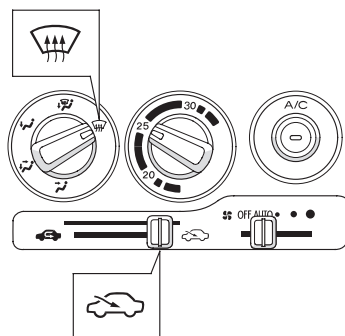
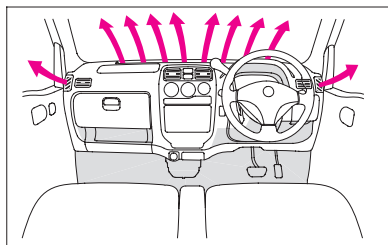
ファンスピード切り換えレバー

レバーの位置	OFF	AUTO	・・・
風量	停止	自動切換	弱↔強

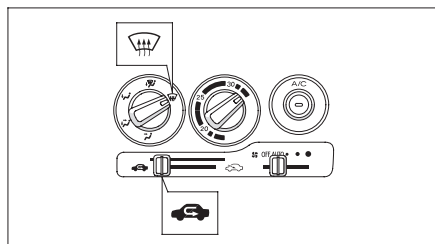
●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスター

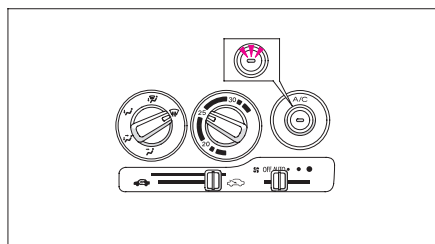
ガラスの曇り取りなどに使用します。ダイヤルを“”にすると吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



急速に霜を取りたいとき



梅雨時など湿度の高いとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

知識

- エアコンスイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。



●エアコンを常用しないとき

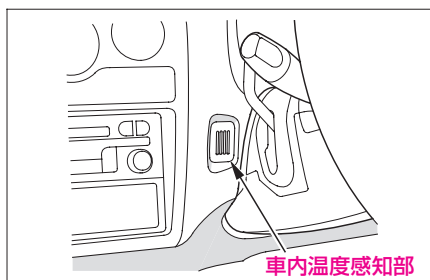
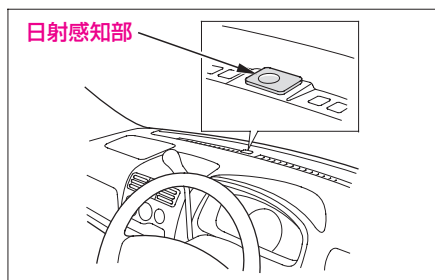
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



●エアクリンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリンフィルターが取り付けられています。

エアクリンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダプリモ店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

ホンダプリモ店で点検を受けてください。

ヒーター・マニュアル式エアコン

タイプ別装備

エンジンをかけた状態で使います。

温度調節ダイヤル

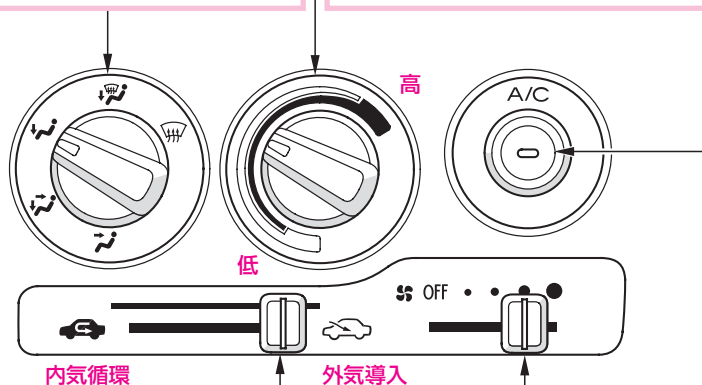
ダイヤルを回して吹き出し風の温度を調節します。

吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。(右ページ参照)

エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えレバーが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。
冷房や除湿暖房をするときに使います。



内外気切り換えレバー

通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

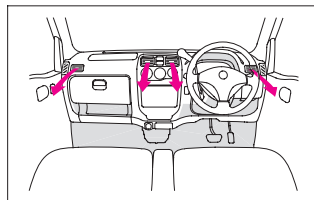
ファンスピード切り換えレバー

OFF	停止
・	弱
●	中
●	強
●	最強

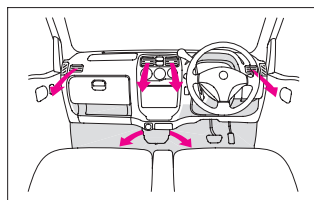


吹き出し口切り換えダイヤル

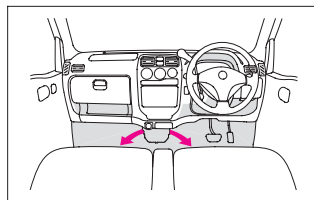
上半身に送風したいとき



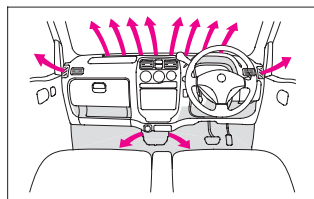
上半身、足元に送風したいとき



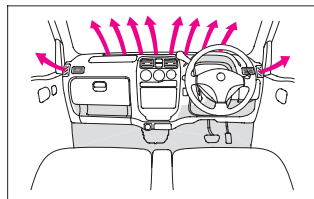
足元に送風したいとき



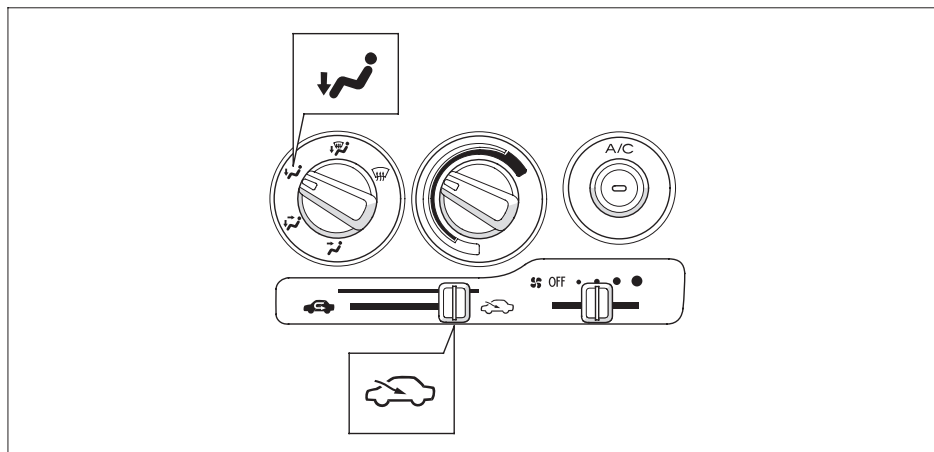
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



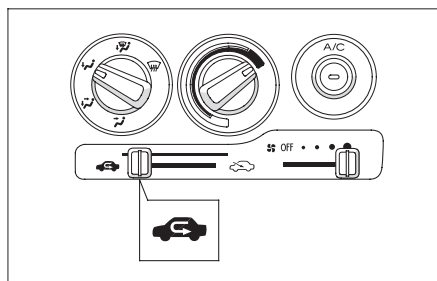
窓ガラスの曇りを取りたいとき



●暖房するとき



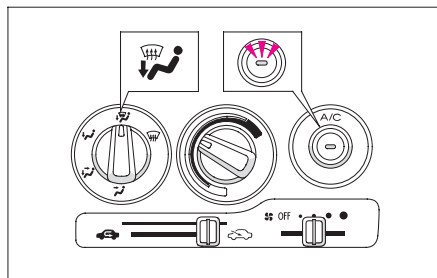
急速に車内を暖めたいとき



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度暖めた後は外気導入で使ってください。

曇り止め暖房をしたいとき

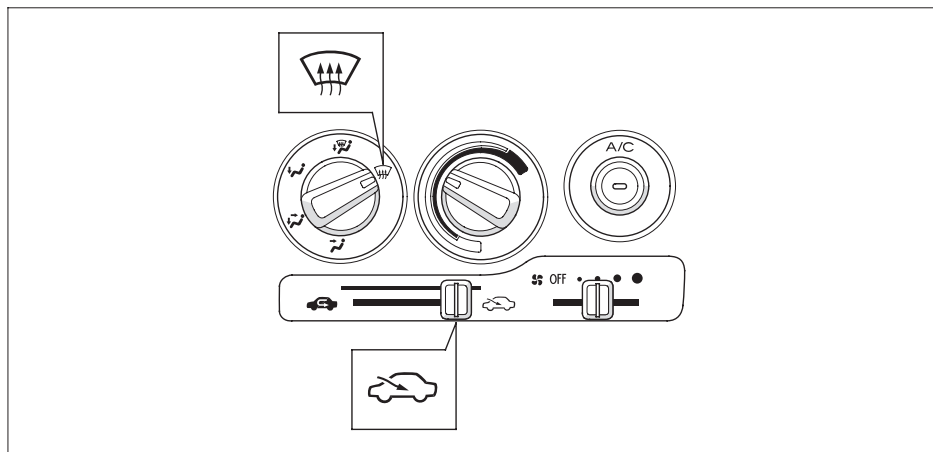


エアコンスイッチを入れると除湿暖房ができます。

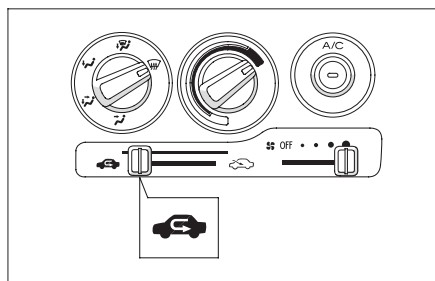
春、秋などの雨天でガラスが曇りやすいときに使います。外気が除湿され、乾燥した空気で暖めますので、曇り止めに役立ちます。



●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)



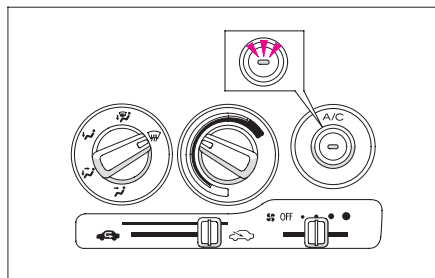
急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

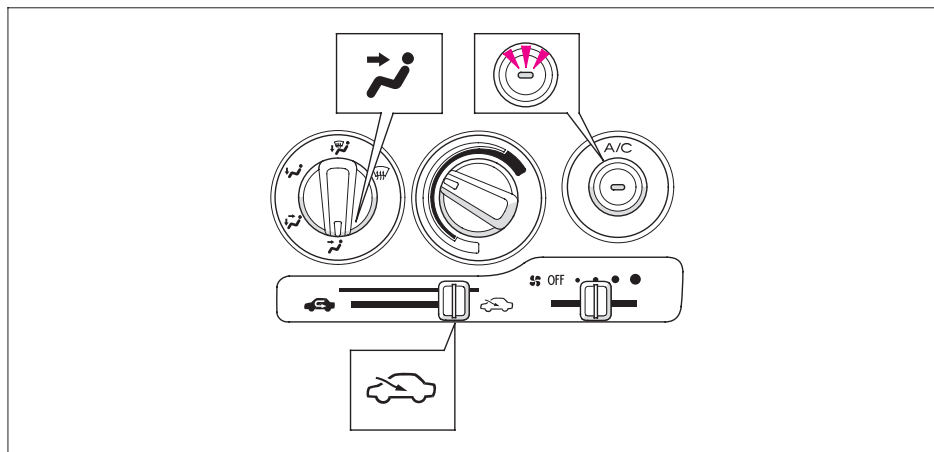
梅雨時など湿度の高いとき



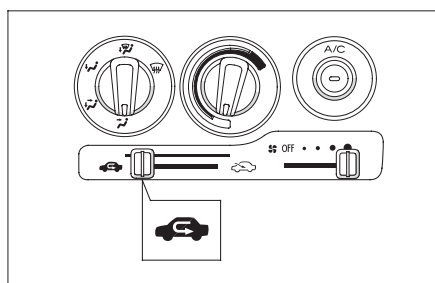
知識

- エアコンスイッチを入れているときは、温度調節ダイヤルを最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界のさまたげになります。

●冷房するとき



急速に車内を冷やしたいとき



🎓 知 識

- 急速冷房で車内が冷えたら外気導入にしてください。内気循環のまま長時間使うと車内の空気が汚れます。

🎓 知 識

- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。



●エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●エアクリンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリンフィルターが取り付けられています。

エアクリンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダ販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

ホンダプリモ店で点検を受けてください。

オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●CD/MDIについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。



CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。
下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。



知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

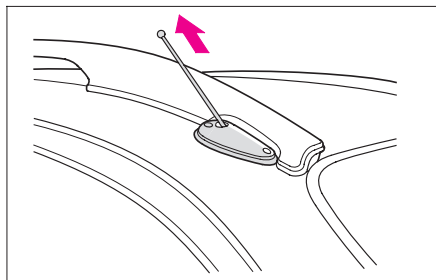
MD

シャッターを無理にあげないでください。こわれることがあります。
また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。



アンテナ

ラジオをきくときはアンテナをいっぱいまで伸ばします。



知 識

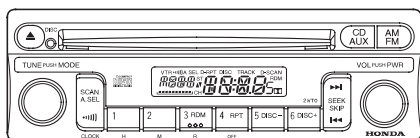
- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。
アンテナを曲げたりすると伸縮性を損ないます。



オーディオインデックス

AM/FMラジオ一体式CDステレオ

注文装備



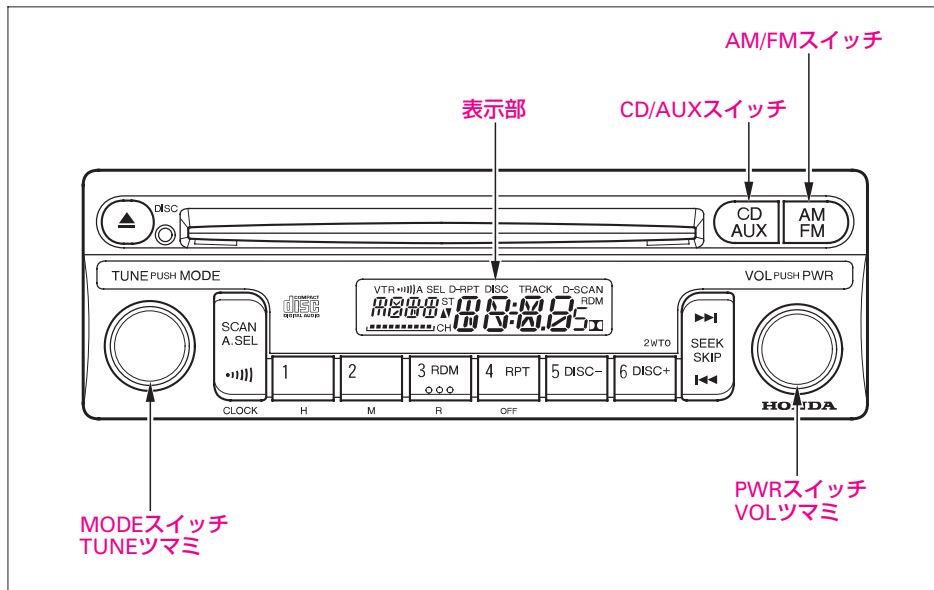
- 電源の入れかた142
- 音量調節のしかた142
- 音質、バランス調節のしかた143
- モードの切り換え143
- ラジオの使いかた144
- CDプレーヤーの使いかた148
- CDチェンジャーコントローラー等の
 使いかた※150
- エラーコードについて152
- 時計153

※：Honda純正のオーディオを接続し、操作することができます。詳しくはホンダブリモ店にご相談ください。

AM/FMラジオ一体式CDステレオ

注文装備

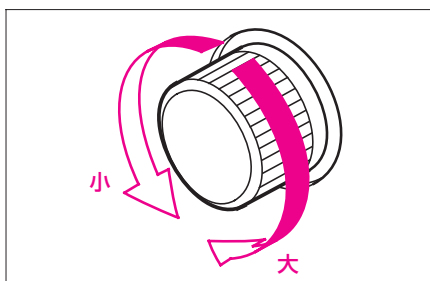
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇄“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた

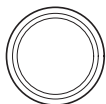




●音質、バランス調節のしかた

MODEスイッチを押して切り換え、TUNEツマミで調節します。

TUNE PUSH MODE



低音音質 (BAS)

[BAS]

高音音質 (TRE)

[TRE]

前後バランス (FAD)

[FAD]

左右バランス (BAL)

[BAL]

MODEスイッチを押すたびに切り換わります。

知 識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

●モードの切り換え

各モードボタンで切り換えます。

・AM/FMスイッチ

AM
FM

ラジオに切り換わります。

・CD/AUXスイッチ

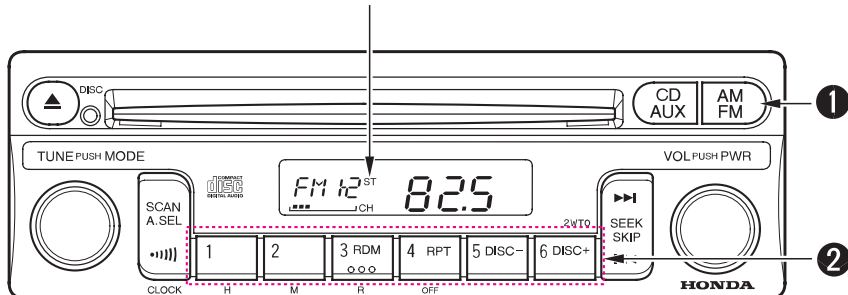
CD
AUX

ディスクが入っているときに押すと、CD演奏に切り換わります。

Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

● ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



① ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

② 選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておくと、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。



●ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMスイッチでAM/FM1/FM2を選びます。
- ②TUNEツマミ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。



高
低

- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しづつ変わります。
- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

🎓 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

🎓 知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押します。(“SCAN”が点滅)



電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

●自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A. SELスイッチを短く押します。 (“A. SEL” が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6 局、FM12局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度短く押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



交通情報をきくとき

・||| スイッチを短く押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。（“・|||”が点灯）



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…TUNEツマミまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

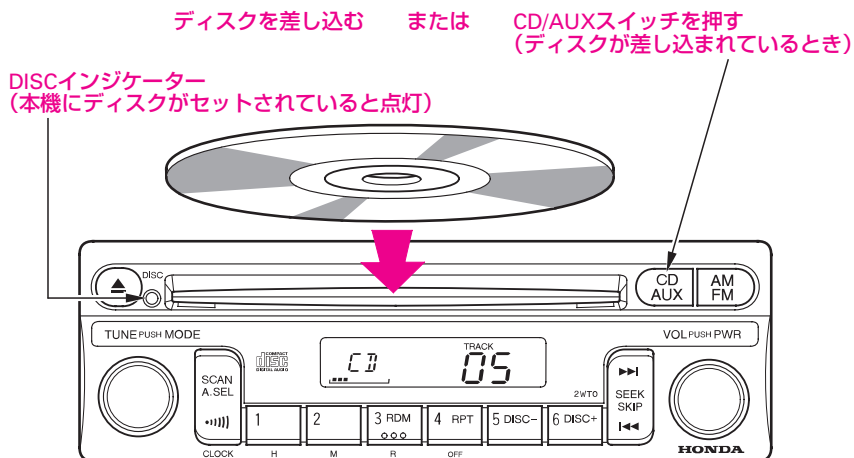
・||| スイッチをもう一度短く押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



知 識

- ・||| スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

●CDプレーヤーの使いかた ディスク演奏のききかた



知 識

- 8 cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

ディスクを取り出すとき

- ▲ スイッチを押して、ディスクを取り出します。



ディスク演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、▲ スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ
早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。("SCAN" が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知 識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。("RPT" が点灯)

4 RPT

リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1 枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。("RDM" が点灯)

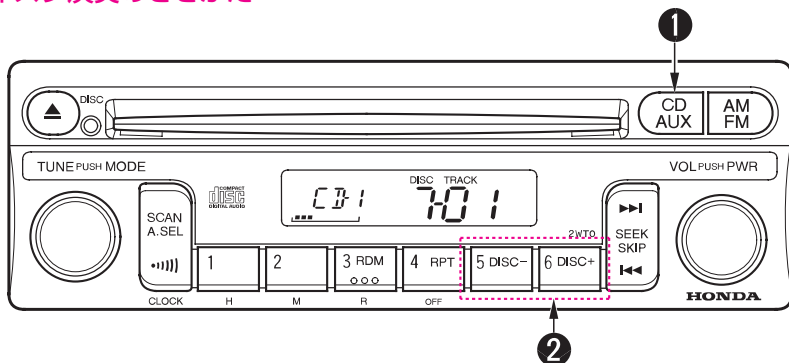
3 RDM

ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

●CDチェンジャーコントローラー、CD/MDプレーヤーの使いかた

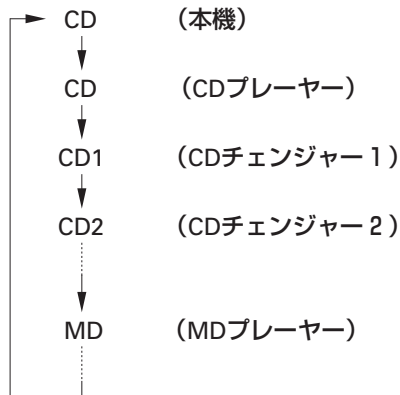
Honda純正のCDチェンジャー、CD/MDプレーヤー接続時

ディスク演奏のききかた



①切り換える(CD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。
スイッチを押すたびに接続されている
チェンジャー、CD/MDプレーヤーに切り換わります。



②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

CDチェンジャー接続時

DISC-/DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。

DISC-/DISC+スイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。



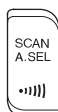
早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

CDプレーヤーの操作と同様になります。

→149ページ

スキャン／リピート／ランダム演奏のしかた

スキャン



リピート



ランダム



スキャンの場合

- ・SCANスイッチを短く押すとトラックスキャンになります。

（“SCAN” が点灯）

演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度短く押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

- ・SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。（“SCAN” が点灯）

ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

リピート、ランダムも同様の操作となります。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



- CD (本機)
- CD (CDプレーヤー)
- CD-1 (CDチェンジャー 1)
- CD-2 (CDチェンジャー 2)
- ⋮
- MD (MDプレーヤー)
- ⋮

エラーコード	原 因
ERR	ディスクマガジンやディスクの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
Hot	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクが汚れている、または裏返しになっている
NO	ディスクマガジンにディスクが入っていない

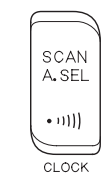


●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の切り換え

オーディオ作動時の時計の表示が切り換えられます。



・(CLOCK)スイッチ



4(OFF)スイッチ

・表示を消すとき

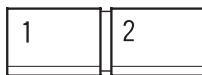
- ① ・(CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)
- ② 4 (OFF)スイッチを押します。

・表示させるとき

- ・(CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点灯)

表示の合わせかた

- ① ・(CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)
- ② 「時」の調整… 1 (H)スイッチを押します。
「分」の調整… 2 (M)スイッチを押します。

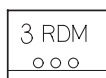


1(H)スイッチ 2(M)スイッチ

- ③ ・(CLOCK)スイッチをもう一度押します。

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 3 (R)スイッチを押します。

(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
 1:30 ~ 1:59の場合… 2:00



R

室内装備品

室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

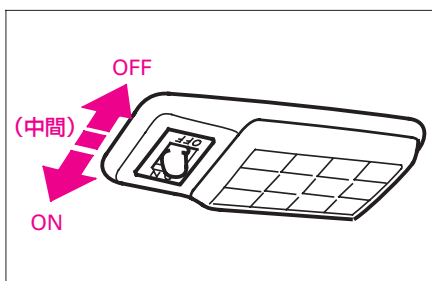
ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- ・運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムランプ機能)
- ・エンジンスイッチからキーを抜いたとき

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、室内灯は減光せず、すぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “中間”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

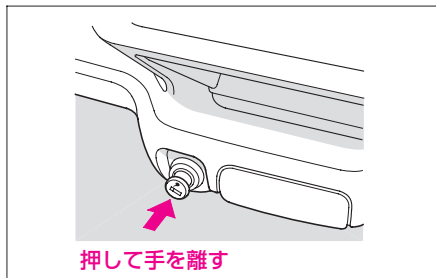


シガレットライター

エンジンスイッチが“I”または“II”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

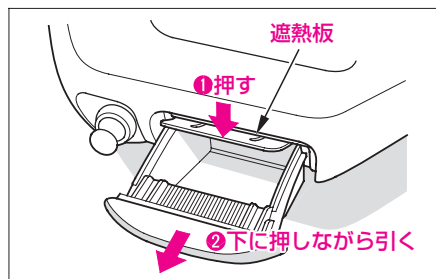
- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ ライターのさし込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

灰皿

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。

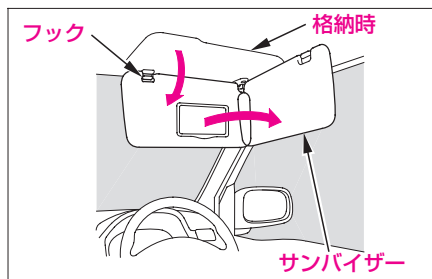


⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

サンバイザー

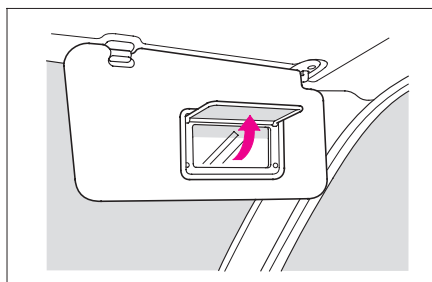
サンバイザーを横にするときには、フックから外して行います。



● バニティミラー(化粧鏡)

運転席：標準装備
助手席：タイプ別装備

サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。

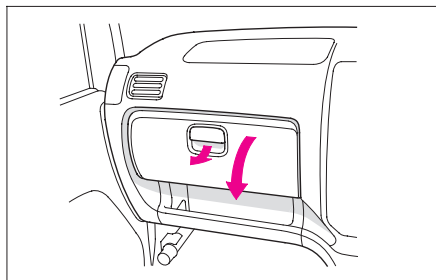




小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

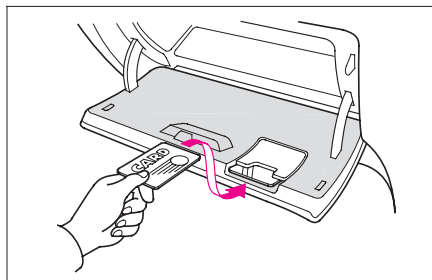


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

カードホルダー

グローブボックスのふたにカードホルダーがあります。

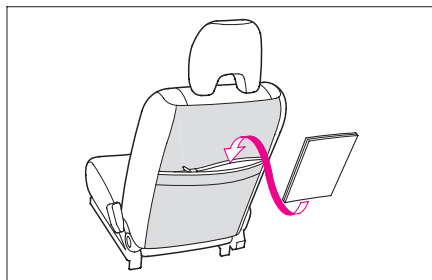


🎓 知識

- カードホルダーには、カード以外のものを入れないでください。カード以外のものを入れると、取り出せなくなることがあります。

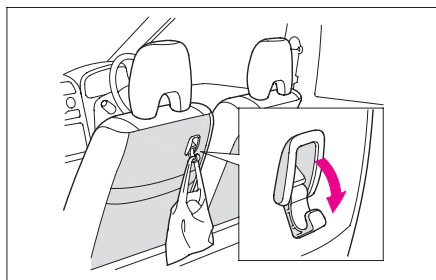
シートバックポケット

運転席背もたれの後ろのポケットには、ファスナー付きの内ポケットがあります。車検証、取扱説明書等を入れておくのに便利です。



コンビニフック

軽い荷物をかけておくのに便利です。
フックを手前に倒して使用します。
使用しないときは、フックを元に戻しておいてください。



知識

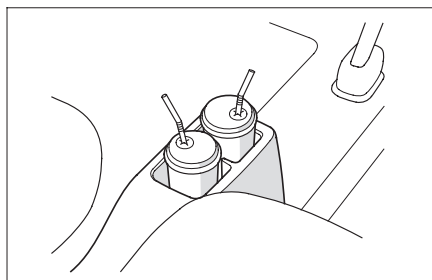
- 重い物(約 3 kg 以上)や大きな物をかけないでください。特に、重い物をかけるとフックが外れることがあります。

カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかる、故障の原因となりますので注意してください。



5

万一のとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所160

工具の種類161

発炎筒について161

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき162

高速道路で故障したとき162

道路で動けなくなったとき163

故障の修理について163

●事故が起きたとき164

●けん引

けん引されるとき

(ロープによるけん引)166

動けなくなったとき169

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い170

応急用スペアタイヤ172

タイヤ交換173

●オーバーヒートしたとき

.....180

●電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき182

ライト類が点灯しないとき、
電気装置が作動しないとき

.....184

*全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

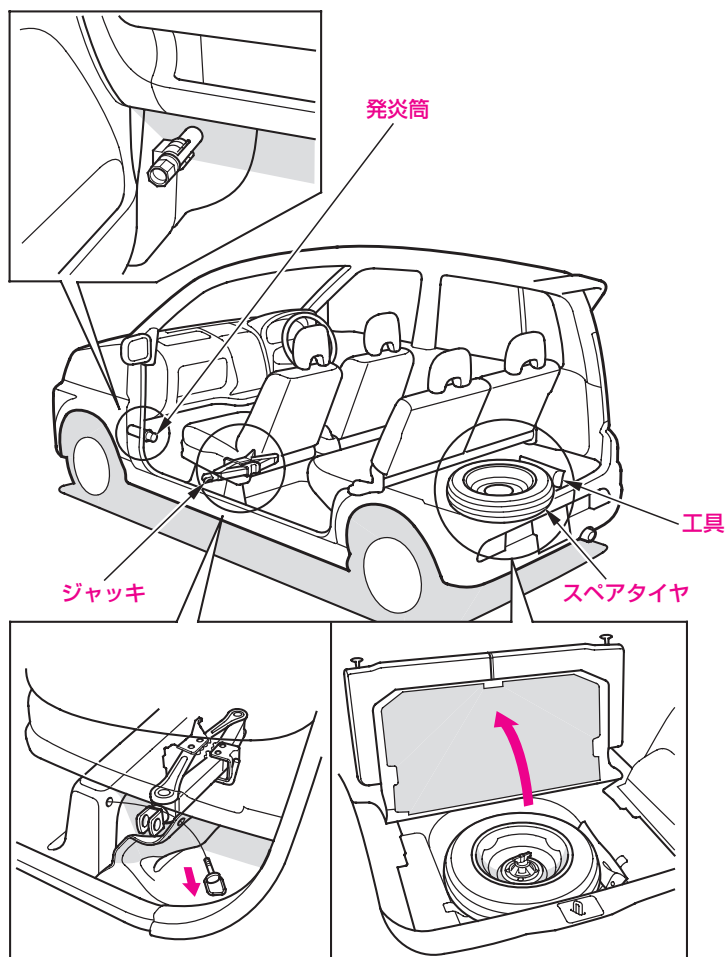
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

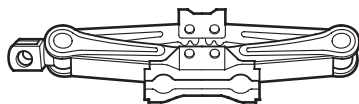
発炎筒は助手席足元にあります。

ジャッキは助手席下のカーペット内にあります。





工具の種類



ジャッキ

ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)アイボルト
(けん引用)

ジャッキハンドルバー

知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・使いかた
- ・使用上の注意
- ・発炎時間
- ・有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

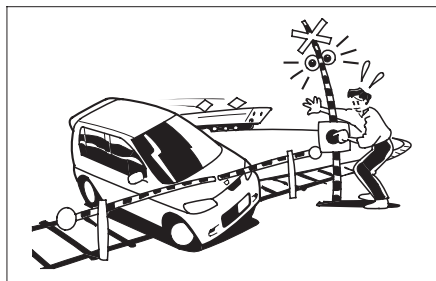
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

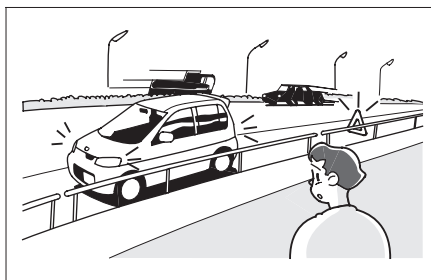
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。

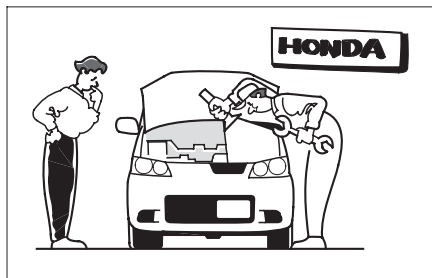


知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダプリモ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

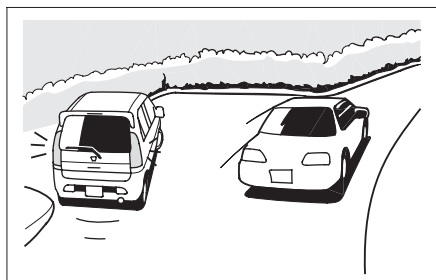
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

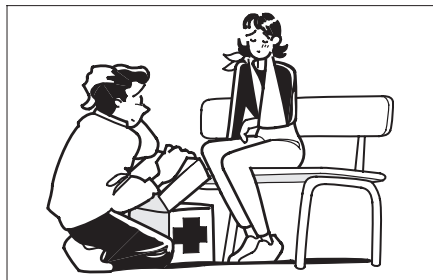
他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

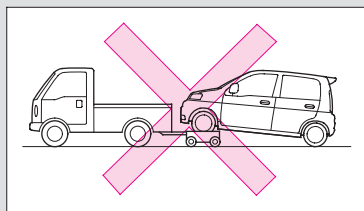
5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または、前輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

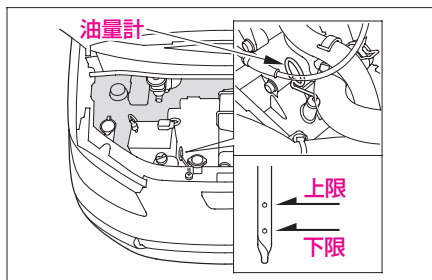
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。



けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

- ① トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



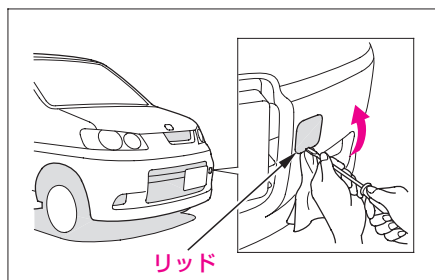
下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。



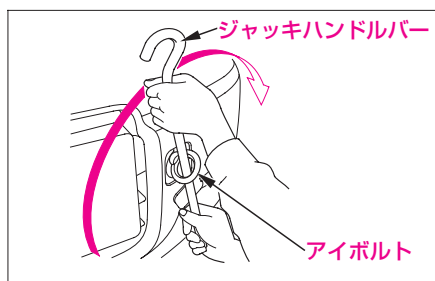
- ②カーゴルームからアイボルトを取り出します。

格納場所 →160ページ

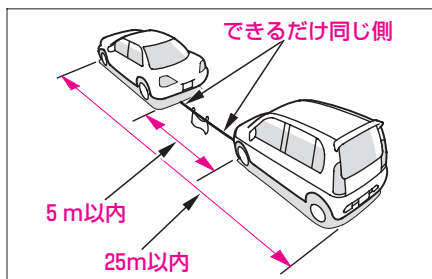
- ③マイナスドライバーの先でリッドを開けます。



- ④アイボルトがガタつかない程度まで手で締めつけてから、ジャッキハンドルバーなどをかけて確実に締めつけます。



- ⑤ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ⑥エンジンを始動し、セレクトレバーを一度ⅠにしてからⅡに、エンジンスイッチは“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。
- ⑦パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
- ⑧速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- アイボルトにロープをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・アイボルトは確実に取り付けてください。
 - ・アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にアイボルトに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

知 識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



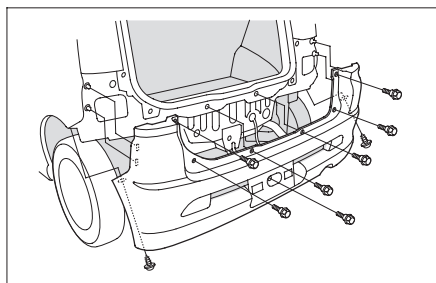
動けなくなったとき

脱輪などして後方へ引き出す場合は、次の方法で行ってください。

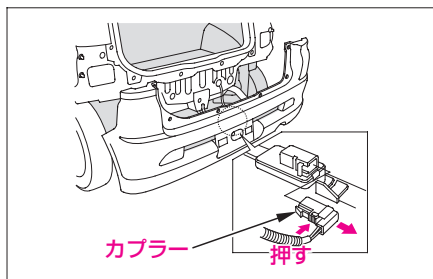
アドバイス

- リヤバンパーを外さないでけん引されると、リヤバンパーに傷をつけるおそれがあります。
- フックは大きな衝撃が加わると変形するおそれがあります。車を引き出すときは、ゆっくりと引いてください。

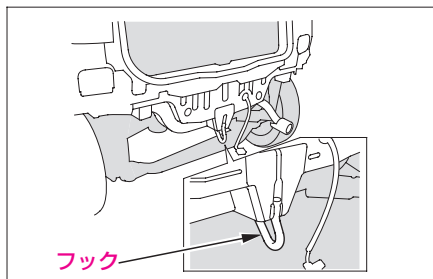
① リヤバンパーを外します。



② 番号灯のカブラーを外します。



③ フックにロープをかけます。



知識

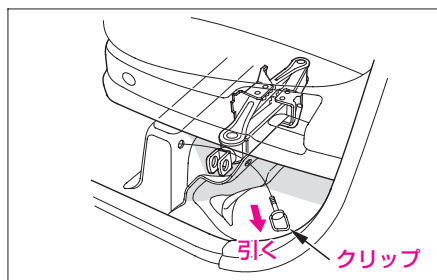
- フックは、他車のけん引には使用しないでください。

パンクしたとき

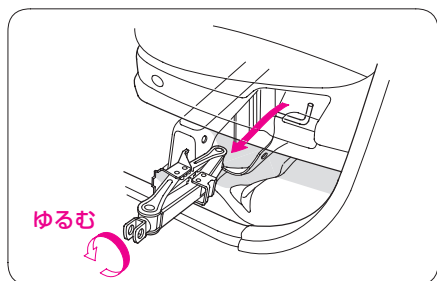
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出し方

- ①助手席下のクリップを外し、カーペットをめくります。



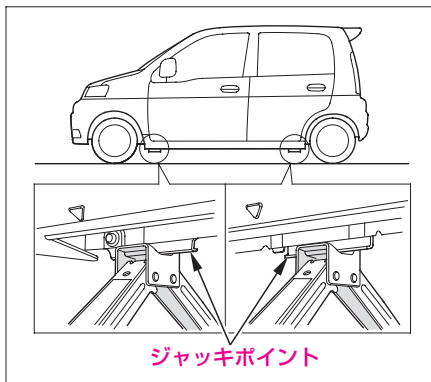
- ②ジャッキをゆるめて少し持ち上げるようにして手前に引き出します。



🎓 知識

- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

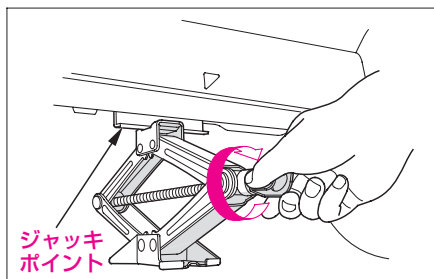
●ジャッキをかける位置



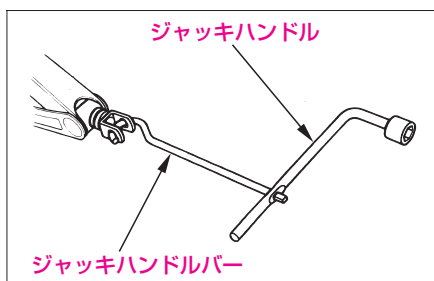


● ジャッキのかけかた

- ① 地面が固い平らなところに車を停めます。
- ② パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



🎓 知識

- ジャッキ使用後は、走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。

⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
- 万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

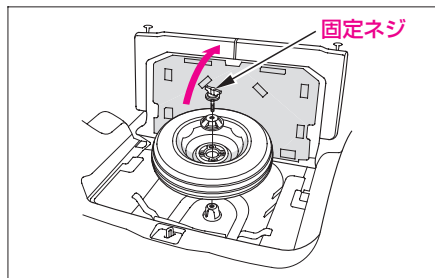
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをつけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

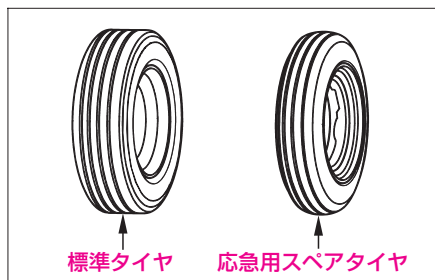
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

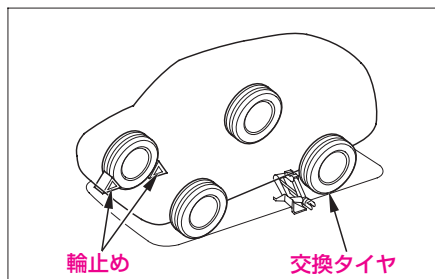
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。



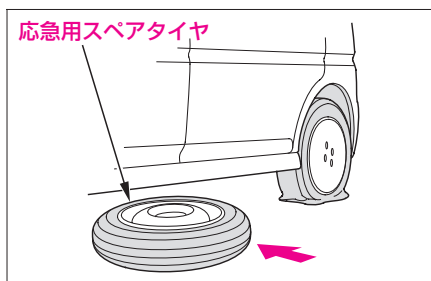
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

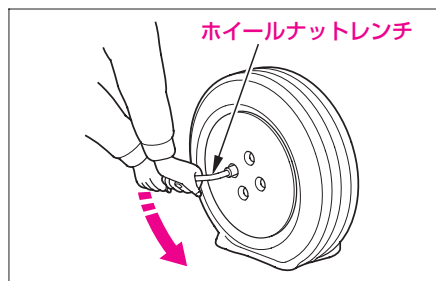


2 ジャッキで車体を上げる

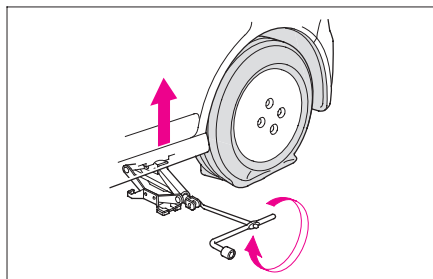
① ジャッキをセットします。

→170ページ

② ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



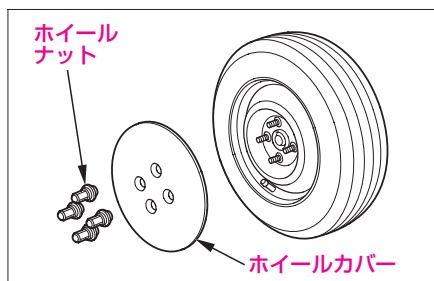
③ タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。





3 タイヤを交換する

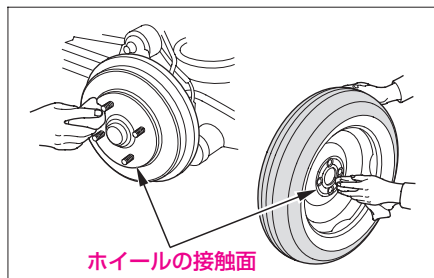
- ① ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



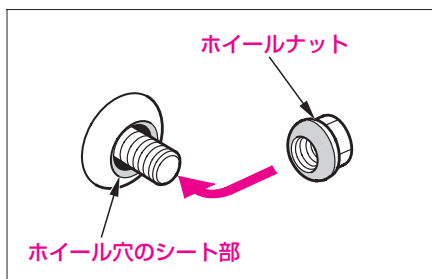
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のごれをふき取ります。



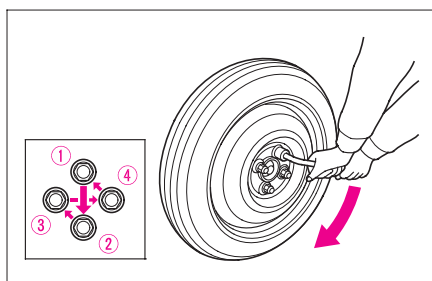
- ③ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑤ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

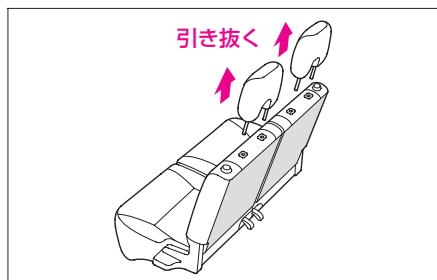
ホイールナット締め付けトルク:

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)

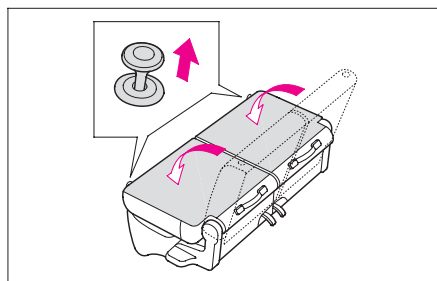


4標準タイヤを収納する

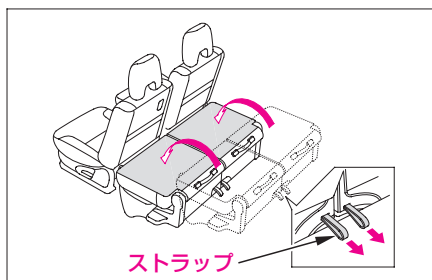
①リヤシートのピローを取り外します。



②リヤシートのノブを引き上げ背もたれを前に倒します。

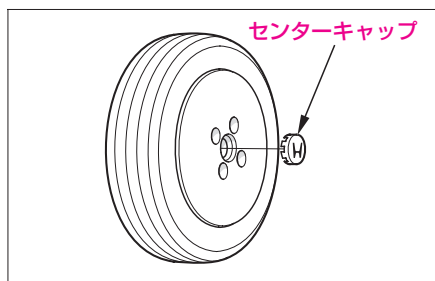


③ストラップを引きシートロックを解除し、前方へ押し出します。

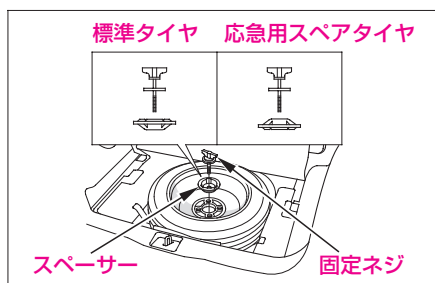




- ④パンクした標準タイヤにセンターキャップが付いているときは、センターキャップを外します。

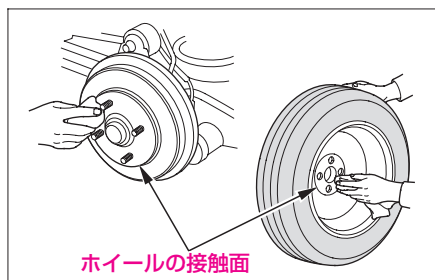


- ⑤パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。



5 標準タイヤを取り付けるときは

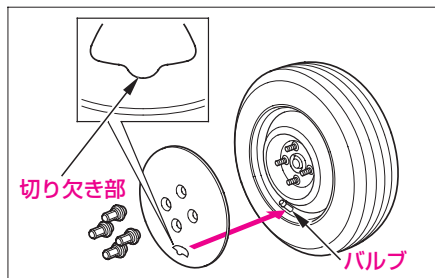
- ①標準タイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



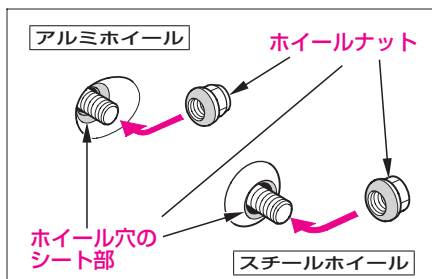
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②ホイールカバーを取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



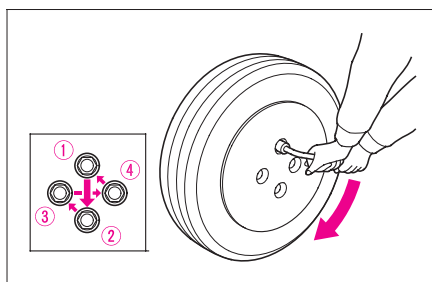
- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)



アドバイス

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。

知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダプリモ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →225ページ

● **ホイールカバー装備車**

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。

● **アルミホイール装備車**

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

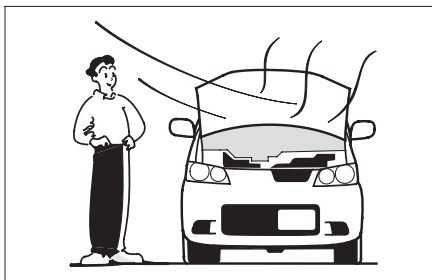
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。

冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

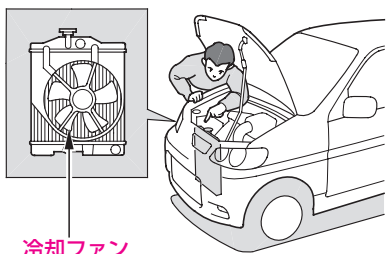


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



- ③ 冷却ファンが作動していることを確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



冷却ファン

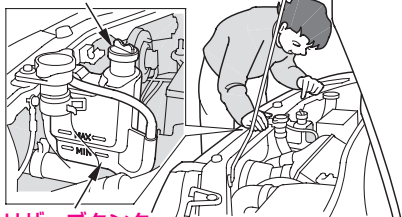


アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダプリモ店へご連絡ください。

- ④ エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。

ラジエーターキャップ



リザーブタンク

- ⑤ 冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。



アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。
冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥ なるべく早くホンダプリモ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

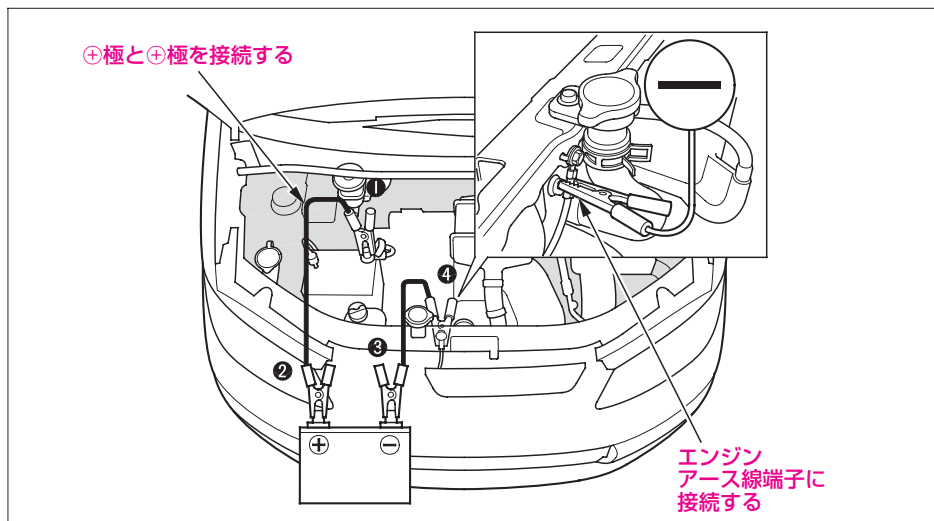
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



- ②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
- ③自車のエンジンをかけます。
- ④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですすくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、バッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →45ページ

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

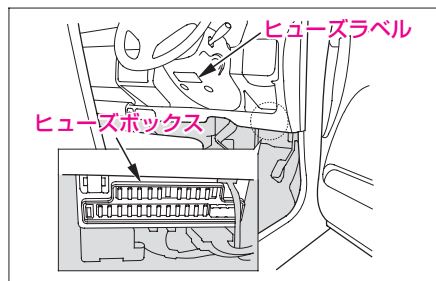
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズラベルで確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

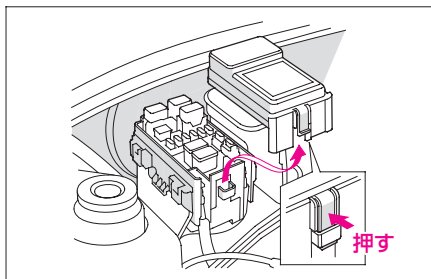
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

・運転席足元

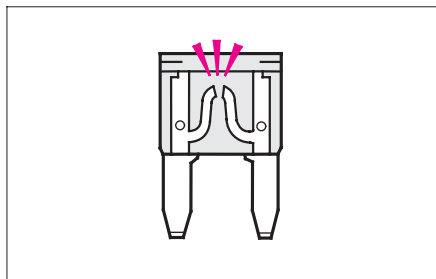


・エンジンルーム内





ヒューズが切れているとき



ヒューズラベルの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

アドバイス

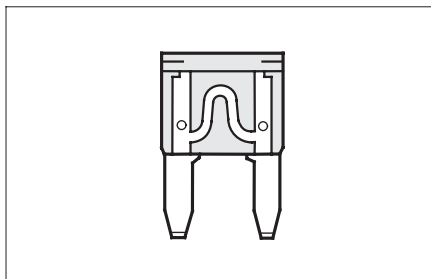
- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。
- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →45ページ

ヒューズが切れていないとき



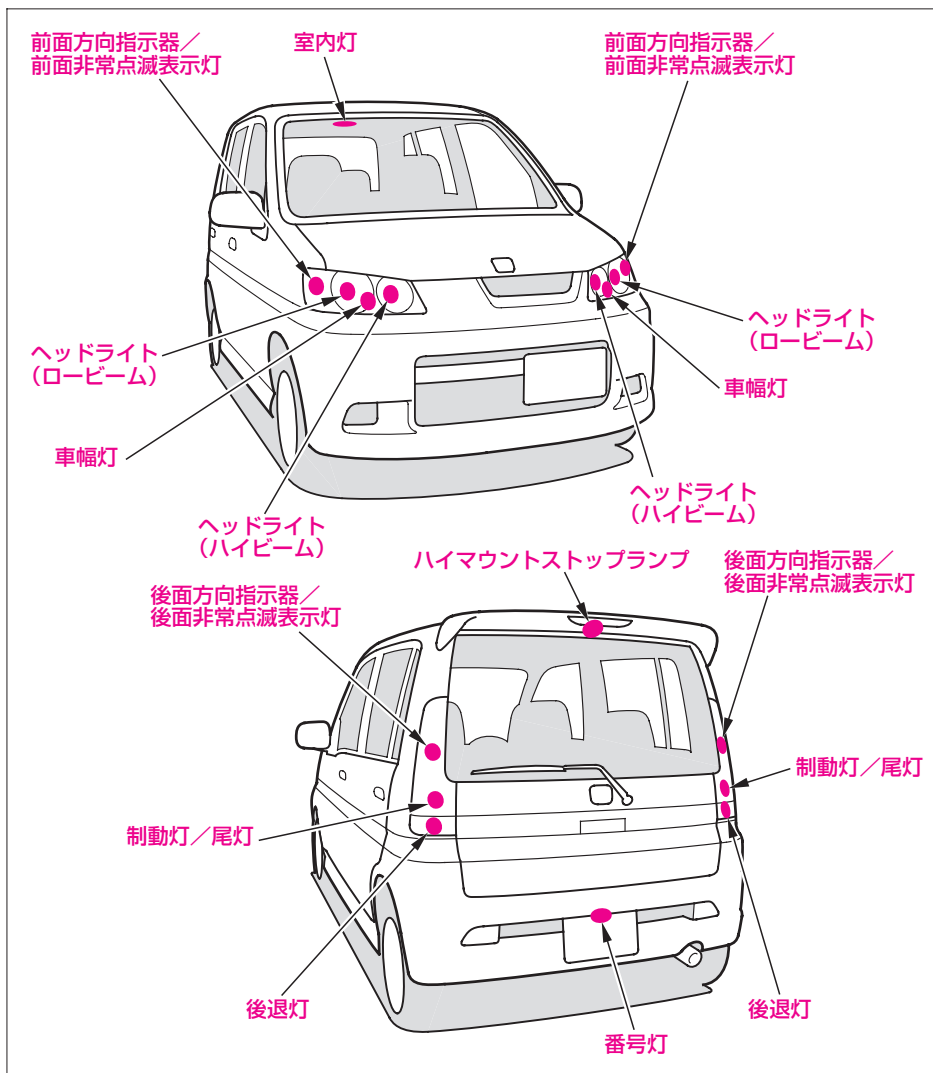
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。





知識

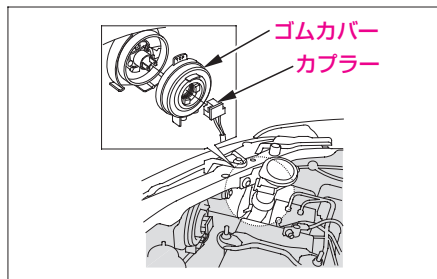
- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。
電球のワット数 → 222ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダプリモ店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →187ページ

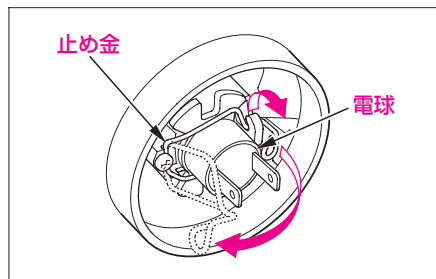
- ①カブラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。



🚗 アドバイス

- 右側のゴムカバーを外すときは後ろのボルトに引っかからないように気をつけてください。
カバーに傷がつくおそれがあります。

- ③止め金を外し、電球を外します。

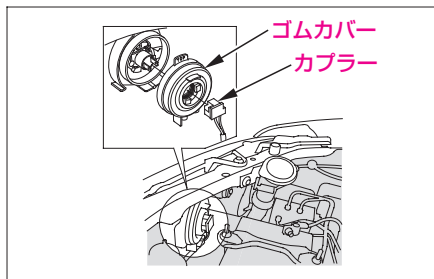


ヘッドライト(ハイビーム)

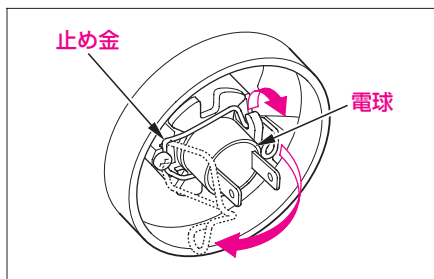
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →187ページ

- ①カブラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。

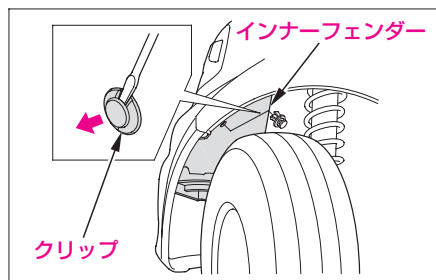


- ③止め金を外し、電球を外します。

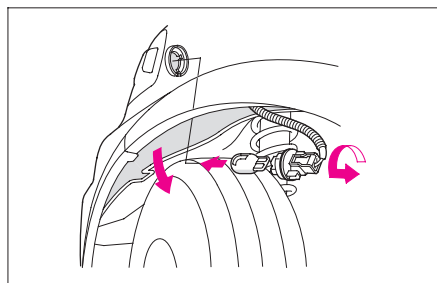


**前面方向指示器／前面非常点滅表示灯**

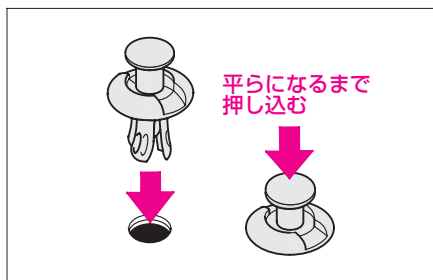
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



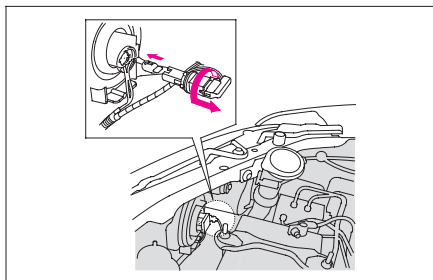
- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

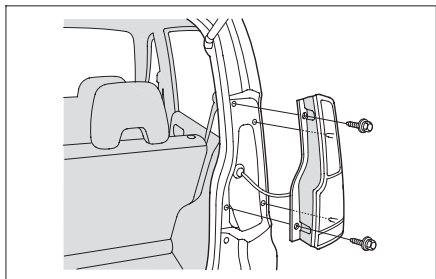
**車幅灯**

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

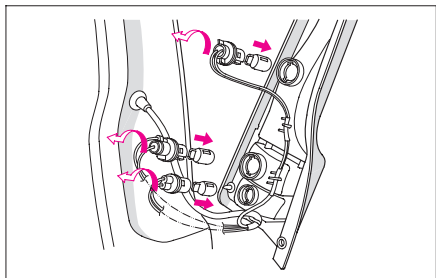


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

①ネジを外し、ランプ本体を外します。

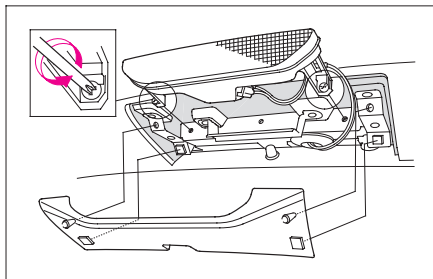


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

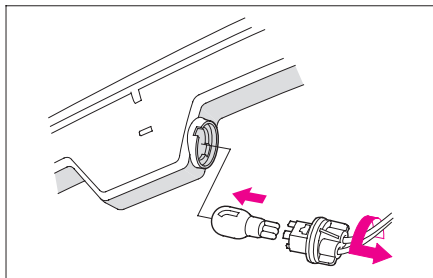


ハイマウントストップランプ

①カバーを取り外し、ネジをゆるめてランプ本体を取り出します。



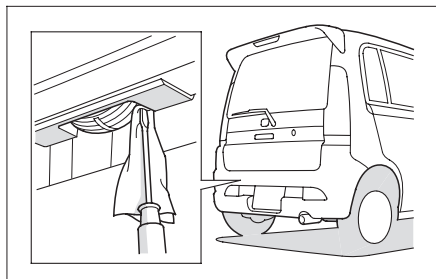
②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



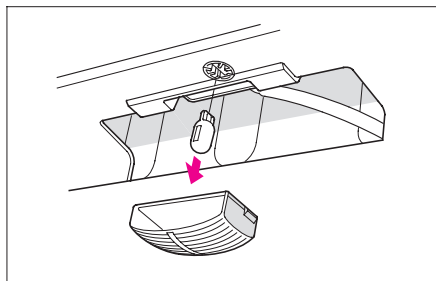


番号灯

① レンズを外します。

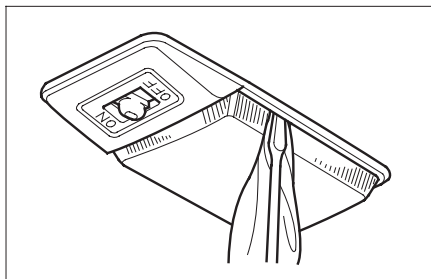


② 電球を抜き取ります。

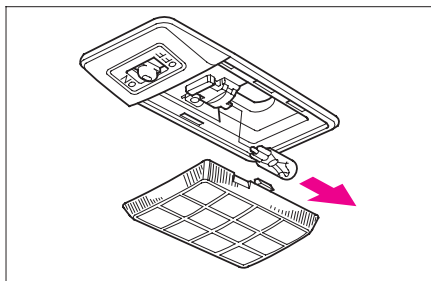


室内灯

① レンズを外します。



② 電球を抜き取ります。





車の手入れ

●点検・整備について……194

●日常の手入れ

外装の手入れ ……………197

内装の手入れ ……………199

タイヤについて ……………200

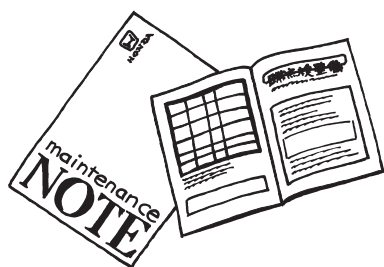
アルミホイールについて ……202

●車にあった部品の使用……204

点検・整備について

車は走行するにしがいい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



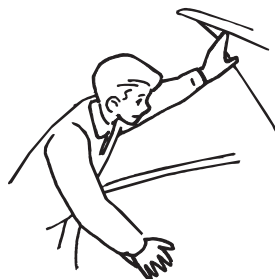
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しておりますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

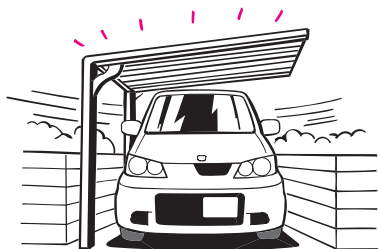
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



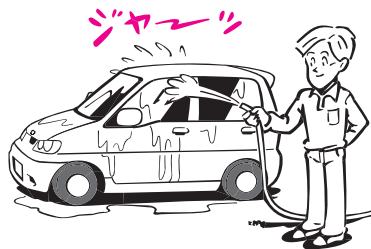
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



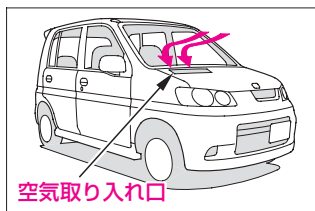


外装の手入れ

●洗車のしかた

- ・十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ・塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ・汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ・水が乾かないうちに拭き取ります。

- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



ワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてください。また、倒すときは、助手席側を先に倒してください。

→217ページ

自動洗車機を使うとき

- ・アンテナやドアミラーを格納して洗車してください。
- ・ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。
ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダプリモ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

リヤガラスの清掃をするとき

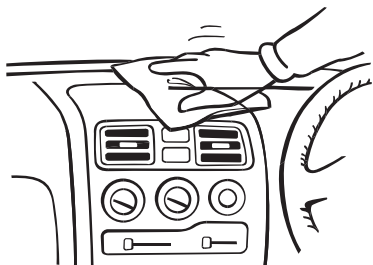
リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。



● 液体芳香剤、 レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

タイヤに ついて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。
- また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
- 摩耗限度を超えたタイヤ
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→225ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

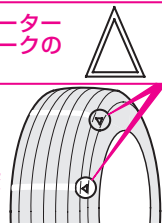
摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です

ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換





●位置交換 (タイヤローテーション)

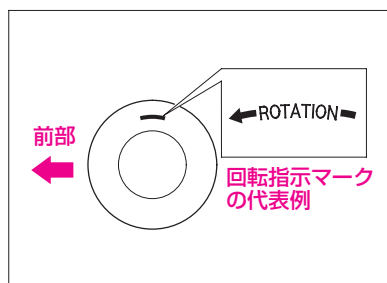
5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

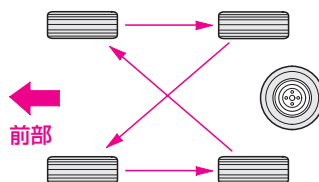
- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

タイヤ回転指示マーク

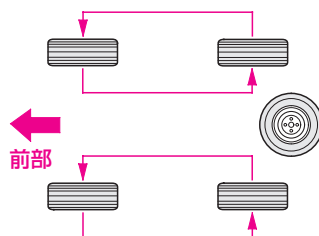
タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤの場合



回転指示マークがあるタイヤの場合

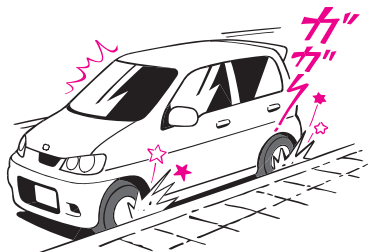


アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダプリモ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



HONDA
GENUINE PARTS

- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	206
運転するとき	208
駐車するとき	213
冬期の手入れ	214

●こんなときは

雨の日の運転	216
夏場の取り扱い	218
経済走行のために	219

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

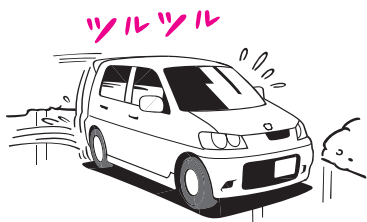
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →210ページ
タイヤチェーンの取り付けかた

→211ページ

- ・冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

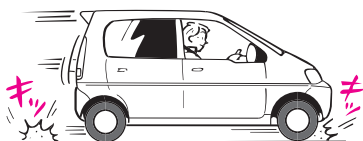
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

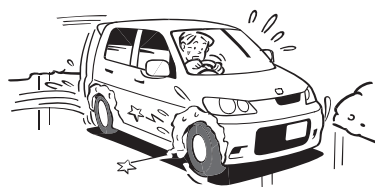
⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。

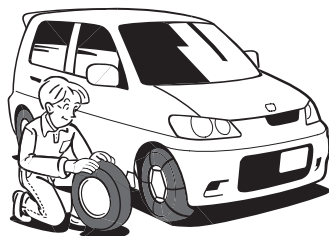
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



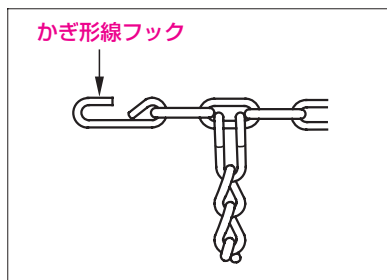
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはホンダプリモ店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
155/65R13 73S	スチールチェーン 45170(新JIS)

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。



標準的なタイヤチェーンの 取り付け方

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

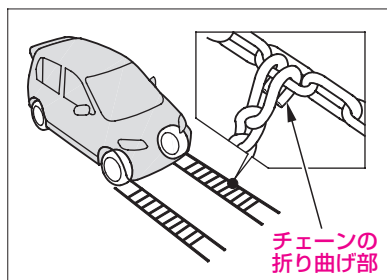
4WD車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは前輪に装着してください。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

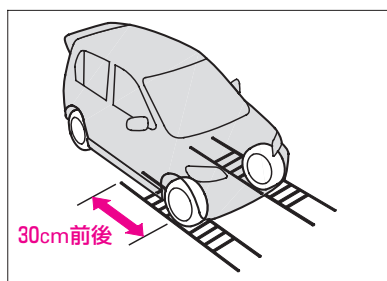
- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

①前輪を直進状態にします。

②チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。

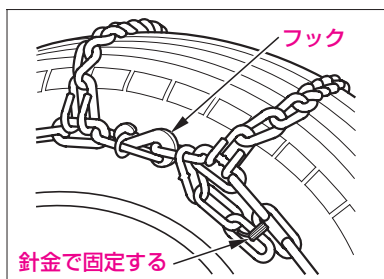


③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。

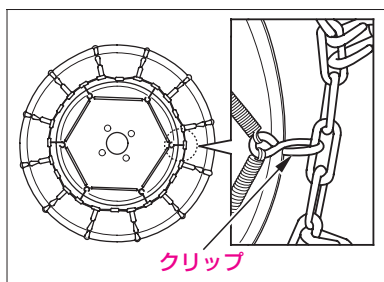


④チェーンをタイヤにまきつけていっばいに引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。

⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっばいに張ります。



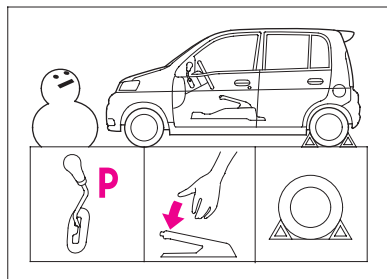
⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがないかを確認します。



駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

セレクトレバーをPに入れます。
石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

ワイパーアームの起こしかた

→217ページ

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

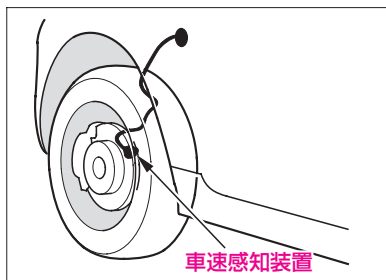
⚠注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

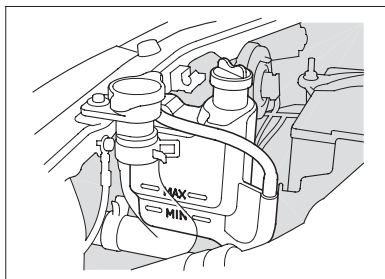
エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



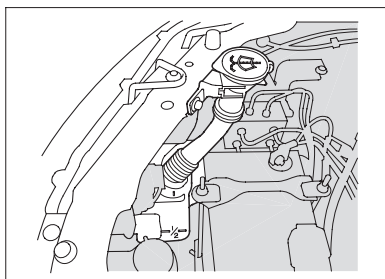
冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。



ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。



- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダブリモ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

**● ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

● ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

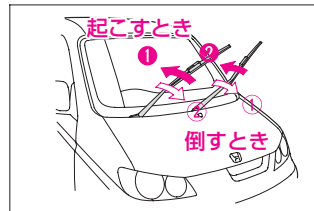
- ・ ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

● ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



- ワイパーアームを起こしたり倒したりするときは、図の順に行ってください。



夏場の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダプリモ店にご相談ください。

●炎天下に駐車するときは

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、高水温警告灯が点灯した場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→180ページ

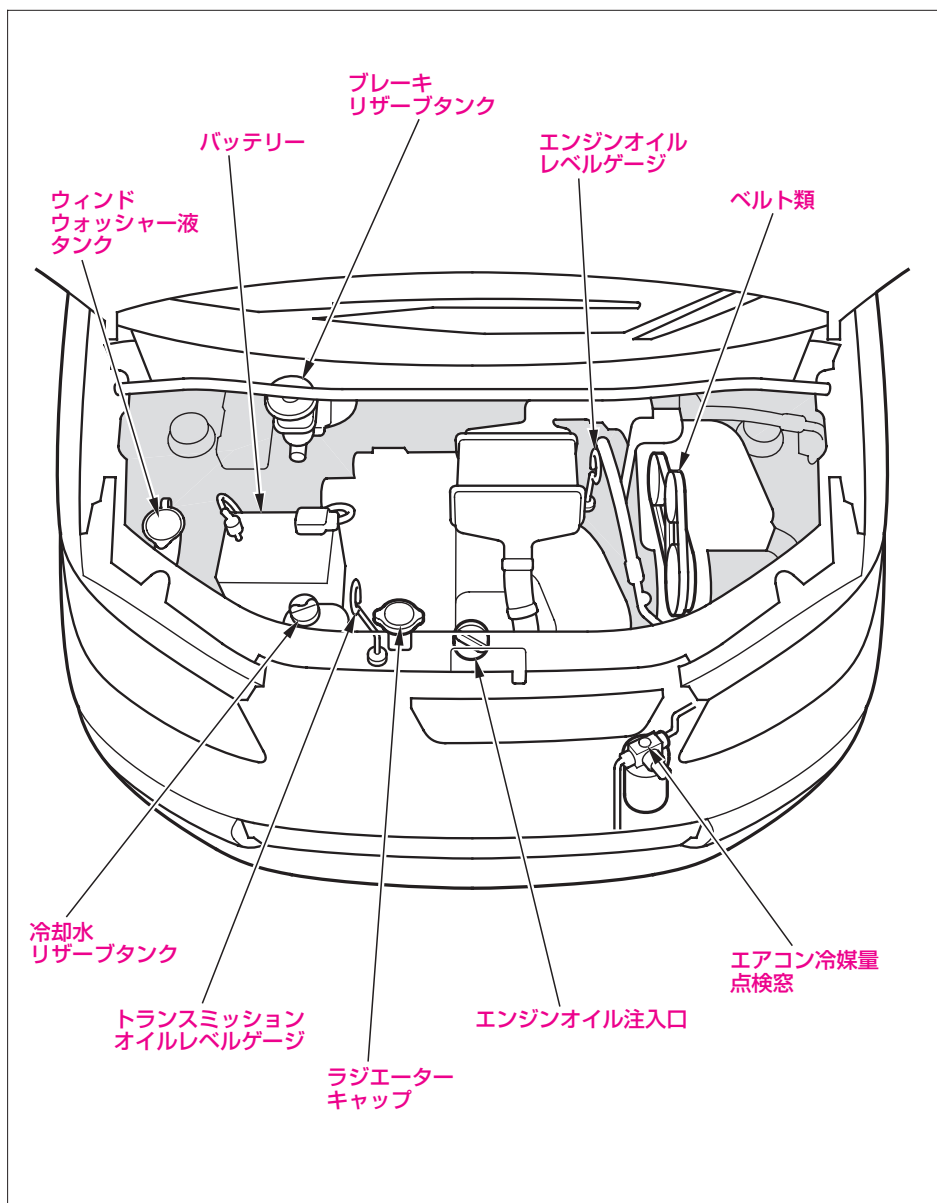


経済走行の ために

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- カーゴルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。



サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合せてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点 火 プ ラ グ※1	タ イ プ	NGK	IFR6C※2
		DENSO	SK20PR-L9※2
	電 極 の す き 間	0.8－0.9 mm	

※1：ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。のマークがついています。

※2：イリジウムプラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・イリジウム合金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。限度値をこえているものは交換してください。(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

エアクリーンフィルターの交換

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダプリモ店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

ホンダプリモ店で点検を受けてください。

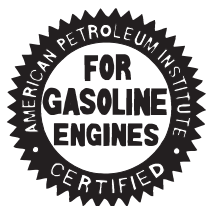
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量			
		①: エアコンディショナーベルト ②: 発電機ベルト	
		発 電 機 ベ ル ト	8.0－10.0 mm {約98N (10kgf) の力}
	エアコンディショナー ベ ル ト	8.0－10.0 mm {約98N (10kgf) の力}	
ブレーキペダル	遊 び	1－10 mm	
	床板とのすき間	111 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	98 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
駐 車 ブ レ ー キ エアクリナーエレメント	引 き し ろ タ イ プ	6－10回 {約196N (20kgf) の力} 湿式	
バ ッ テ リ ー	容 量	2WD車	24AH(5)／28B17R 28AH(5)／38B19R
		4WD車	28AH(5)／38B19R
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) 数	ヘッドライト (外側)※1..... 12V－55W	
		ヘッドライト (内側)※1..... 12V－55W	
		前面方向指示器／前面非常点滅表示灯・・ 12V－21W	
		車幅灯..... 12V－5W	
		後面方向指示器／後面非常点滅表示灯・・ 12V－21W	
		番号灯..... 12V－5W	
		制動灯／尾灯..... 12V－21/5W	
		後退灯..... 12V－18W	
		ハイマウントストップランプ..... 12V－18W (21CP)	
		室内灯..... 12V－5W	

※1：ハロゲンバルブ

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラSG(SG級SAE 10W-30) ウルトラSUPER MILD SJ(API SJ/GF-2級SAE 10W-30) ウルトラLTD XJ(API SJ/GF-2級SAE 5W-30) ウルトラGOLD XJ(API SJ級SAE 5W-40)	
		オイル交換時	2.6 ℓ
	規 定 量	オイル、オイルフィル ター同時交換時	2.8 ℓ

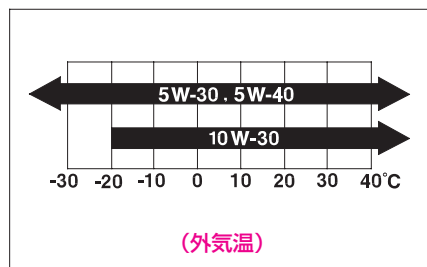
推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI SG級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



API CERTIFICATIONマーク

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン(無鉛レギュラー又はハイオク)	
	タ ン ク 容 量	31 ℓ	
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量 (交換時)	2WD車	1.53 ℓ
		4WD車	2.36 ℓ
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラeクーラント	
	規 定 濃 度	50%	
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.45ℓ含む)	3.3 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4	
ウォッシャー液	タ ン ク 容 量	2.0 ℓ	
デファレンシャル オイル(4WD)	指 定 液	Honda純正ウルトラHGO-II	
	規 定 量 (交換時)	0.5 ℓ	

2WD車

項 目		タイヤ空気圧 kPa(kgf/cm ²)		リムサイズ*	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	155/65R13 73S	220 (2.2)	210 (2.1)	13×4.00B	13×4.00B
応急用 スペアタイヤ	T105/80D13 82M	420 (4.2)		13×4T	

4WD車

項 目		タイヤ空気圧 kPa(kgf/cm ²)		リムサイズ*	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	155/65R13 73S	220 (2.2)	210 (2.1)	13×4.00B	13×4.00B
応急用 スペアタイヤ	T115/70D14 88M	420 (4.2)		14×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。

名称	排気量(cm ³)	車体形状	乗車定員(人)	タイプ	
ライフ ダンク	656	4 ドア ハッチバック	4	TS	2WD
				TR	
				TS	4WD
				TR	

ア

ISO FIX (チャイルドシート固定専用バー)	68
雨の日の運転	216
アルミホイール	202
アンチロックブレーキシステム(ABS) 運転のしかた	118
ABSのしくみ	118
警告灯	119
取り扱いについて	119
アンテナ	140

イ

イグニッション(エンジン) キー	34
スイッチ	84

ウ

ウィンカー スイッチ	87
電球の交換	189・190
表示灯	76
W(ワット)数	222
ウィンドー	44
ウエルカムランプ	154
ウォッシャー液 スイッチ	89
タンクの容量	224
冬期の手入れ	215
動けなくなったとき	169
運転のしかた	92

エ

エアクリナーエレメント	222
エアクリンフィルター .. 131・137・221	
エアコン	124
インデックス	125
AM/FMラジオ一体式CDステレオ	142
SRSエアバッグシステム SRSエアバッグシステムのしくみ	108
お子さまを乗せるときは	113
警告灯	115
作動しないとき	111
作動するとき	110
取り扱いについて	114
エンジンオイル オイル量	223
冬期の手入れ	214
エンジンキー(キー)	34
エンジンスイッチ	84
エンジンのかけかた	92
エンジンブレーキ	18

オ

追越合図	86
応急用スペアタイヤ 格納場所	160
空気圧	225
サイズ	225
スペアタイヤについて	172
オーディオ	138
インデックス	141
上手な使いかた	138
オートエアコン	126
オートマチックトランスミッション 運転のしかた	99
オイル	224
セレクトレバー	96
オーバーヒートしたとき	180
オドメーター	73
温度感知装置	131

カ

カーゴスペースの作りかた	52
カードホルダー	157
外装の手入れ	197
学童用(ジュニア)シート	15・63
カップホルダー	158
ガラスの手入れ	198
換気	13
寒冷時の取り扱い	206

キ

キー	34
キー抜き忘れ警告ブザー	85
キーレスエントリー	36
キーレステールゲートオープナー	40
キックダウン	20

ク

曇り取り(デフロスター)	130・135
クリーブ現象	20
車にあった部品の使用	204
グローブボックス	157

ケ

警告灯	
警告灯類	78
電球切れの点検	83
経済走行	219
けん引	
けん引されるとき	166

コ

工具(ツール)	
格納場所	160
種類	161
高水温警告灯	82
高速道路で故障したとき	162
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	190
W(ワット)数	222
故障したとき	162
故障の修理について	163
小物入れ	157
コンビニフック	158

サ

サービスデータ	220
三点式シートベルト	61
サンバイザー	156

シ

シート	48・50
シートベルト	58
警告灯	81
種類	60
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	117
しくみ	116
取り扱いについて	117
シガレットライター	155
事故が起きたとき	164
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	154
電球の交換	191
W(ワット)数	222
シフトロック装置	23・101
霜取り・曇り止め	130・135
ジャッキの取り扱い	170
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	189
W(ワット)数	222
充電警告灯	81
樹脂塗装部品	198
ジュニア(学童用)シート	15・63
純正部品	204
シートバッグポケット	157

ス

水温	
高水温警告灯	82
低水温表示灯	77
スイッチの使いかた	84
スノータイヤ(冬期タイヤ)	208
スパークプラグ(点火プラグ)	221
スピードメーター	73
スペアタイヤ	
格納場所	160
空気圧	225
サイズ	225
スペアタイヤについて	172

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	190
W(ワット)数	222
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	208
運転するまえ	206
駐車するとき	213
冬期の手入れ	214
セレクトレバー	
操作	96
ポジション表示灯	77
洗車	197
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	86
上向き表示灯	76
追い越し合図(パッシング)	86
スイッチ	86
電球の交換	188
W(ワット)数	222
前席フルフラットシート	54

ソ

速度計	73
速度範囲	98
その他の安全装備	121

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	201
応急用スベアタイヤ	172
空気圧	225
交換	173
サイズ	225
スノータイヤ	208
チェーン	210
タコメーター	73

チ

チェーン	210
チャイルドシート	15・63
チャイルドシート固定機構	
付きシートベルト	66
チャイルドシート固定専用バー	68
チャイルドシート固定装置	66
チャイルドブルーフ	37
駐車	
坂道	25
積雪・寒冷時の取り扱い	213
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	213
操作	94

テ

低水温表示灯	77
テールゲート	
開閉	41
施錠・解錠	40
デフロスター	130・135
点火プラグ	221
電気系統が異常のとき	182
電気装置が作動しないとき	184
電球(バルブ)	
交換	186
W(ワット)数	222
点検・整備について	194
電動リモコンドアミラー	57

ト

ドア

施錠・解錠	34
積雪・寒冷時の取り扱い	207
ドアミラー	56
冬期の手入れ	214
道路で動けなくなったとき	163
時計	153
トランスミッション	
オイルの容量	224
トリップメーター	73

ナ

内装の手入れ	199
夏場の取り扱い	218

ニ

日常の手入れ	196
乳児用(ベビー)シート	15・63

ネ

燃料(ガソリン)	
使用燃料	42・224
タンク容量	42・224
燃料計	73
補給口	42

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	213
操作	94
灰皿	156
ハイドロブレーニング現象	216
ハイビーム表示灯	76
ハイマウントストップランプ	
電球の交換	190
W(ワット)数	222
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	87
電球の交換	189・190
W(ワット)数	222
はさみ込み防止機構	45
発炎筒	
格納場所	160
発炎筒について	161
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	56
バッシング	86
バッテリー	
冬期の手入れ	214
バッテリーあがり	182
容量	222
発電機ベルト	222
パニティミラー(化粧鏡)	156
バルブ(電球)交換	186
パワーウィンドー	44
パワードアロック(オートドアロック)	34
パンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	209
パンクしたとき	170
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	191
W(ワット)数	222

ヒ

PGM-FI警告灯	81
ヒーター・マニュアル式エアコン	132
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	87
電球の交換	189・190
W(ワット)数	222
尾灯	
電球の交換	190
W(ワット)数	222
ヒューズ	184
表示灯	74

フ

吹き出し風の調節	124
踏切で動けなくなったとき	162
フューエルリッド	43
プラグ	221
ブレーキ	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	209
倍力装置	18
ペダル	222
ブレーキランプ	
電球の交換	190
W(ワット)数	222
フロントシート	48
フルフラットシート	54

ヘ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	86
上向き表示灯	76
追い越し合図(パッシング)	86
スイッチ	86
電球の交換	188
W(ワット)数	222
ヘッドレスト	49
ベビー(乳児用)シート	15・63

ホ

ホーンスイッチ	91
ホイールサイズ	225
芳香剤	199
方向指示器	
スイッチ	87
電球の交換	189・190
表示灯	76
W(ワット)数	222
ボンネット	38

	マ	
万一のとき		159
	ミ	
ミラー		
ドアミラー		56
ルームミラー		56
	ム	
無線装置		27
	メ	
メーター(計器類)		72
	ユ	
油圧警告灯		80
	ヨ	
幼児用(チャイルド)シート		15・63
四輪駆動機構(4WD)		
運転するときは		120
取り扱いについて		120

	ラ	
ライト消し忘れ警告ブザー		86
ライトスイッチ		86
ライト類が点灯しないとき		184
	リ	
リムサイズ		225
リモートコントロールドアミラー		57
リヤシート		50
リヤデフロスター		90
	ル	
ルームミラー(防眩式室内後写鏡)		56
	レ	
冷却水(ラジエーター液)		
水量		224
冬期の手入れ		215
レザークリーナー		199



ワイパー

スイッチ 88

積雪・寒冷時の取り扱い 207・213

ワックスがけ 198

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	118
ABSのしくみ	118
警告灯	119
取り扱いについて	119
A/C(エアコン)	
エアコンインデックス	125
オートエアコン	126
ヒーター・マニュアル式エアコン	132
吹き出し風の調節	124
ベルト	222
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	99
オイル	224
セレクトレバー	96

E

ELR付き三点式シートベルト	60
ELR・ALR付き三点式シートベルト	60
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	83

H

HFC-134a(エアコン冷媒)	218
------------------	-----

I

INT(間欠ワイパー)	89
ISO FIX	
(チャイルドシート固定専用バー)	68

P

PGM-FI警告灯	81
PRESS(シートベルトバックル)	65

S

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムのしくみ	108
お子さまを乗せるときは	113
警告灯	115
作動しないとき	111
作動するとき	110
取り扱いについて	114

W

W数(ライト類の電球のワット数)	222
------------------	-----

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのプリモ店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル	0120-112010
FAXインフォメーション	03-5412-2388

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格についてはHonda24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →84ページ

“1”から“0”に回らないとき

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

キーを抜くとき →84ページ

●エンジンがかからない

- ・セレクトレバーがPかNに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →182ページ

●セレクトレバーがPから動かせない

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →101ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →23ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →85ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →86ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●高水温警告灯が点灯した

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →180ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダプリモ店で点検を行ってください。)